

別冊資料-3

「資料-5 再液状化の診断」 の詳細データ

- 簡易法詳細結果
 - ・タイプ1
 - ・タイプ2
 - ・タイプ3
- 地震応答解析詳細結果
 - ・タイプ1
 - ・タイプ2

簡易法詳細結果 タイプ1

検討結果の詳細

- 手法：簡易法による液状化判定(タイプ1：M7.5 200gal)
- 基準：「建築基礎構造設計指針」（日本建築学会：2001年10月）

地 点 名：旭市役所
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 0.3 Dcy(建築指針)= 0.6 cm Dcy(高压ガス指針)= 2.5 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 3.1 cm

地点名	地震計位置_旭市役所_中央汚水ポンプ場	PL値 水の単位体積重量 上載荷重 使用曲線 設計加速度 マグニチュード 地表変位(Dcy)	0.31 10.0 (kN/m ³) 0.0 (kN/m ²) γ= 5 (%) 200.00 (gal) 7.5 0.60 (cm)	地下水位面 1.85 (m) (注) 判定外 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い) **2 τ d/σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い) **3 Fc〜∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い) **4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である
基準名	建築基礎構造設計指針			液状化の程度 軽微
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値 ∠Nf=11一定とする			

標尺	土 質 特 性													応 算 力 出 比 法	液 を 状 考 慮 判 定	せん断振幅		液状化の判定					
	深 さ	層 厚	土層種類	N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧 σ'v	全上載圧	細粒含有土率	平均粒径	コ抵抗値貫入 D50	周抵抗摩擦			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗比	せん断力断比	判 定		
																					FL	0	1
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	(kN/m²)	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)		(kN/m²)	Na	τ 1/σ'v	τ d/σ'v					
0	0.0														N値								
	0.85	0.85	砂質土																				
	1.85	1.00	砂質土		4.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	3.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	3.4	7.77	**1	**1	**1		
	2.85	1.00	砂質土		16.0	2.30	20.0	21.0	41.0	45.5	5.7	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	5.8	25.56	0.507	0.142	3.569		
	3.85	1.00	砂質土		28.0	3.30	18.0	19.0	50.0	64.5	5.7	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	8.1	40.02	0.600	0.163	3.690		
	4.85	1.00	砂質土		20.0	4.30	18.0	19.0	59.1	83.6	9.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	10.4	31.17	0.600	0.176	3.417		
	5.85	1.00	砂質土		15.0	5.30	18.0	19.0	68.1	102.6	9.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	12.5	23.40	0.360	0.184	1.956		
	6.85	1.00	砂質土		28.0	6.30	18.0	19.0	77.1	121.6	9.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	14.6	36.98	0.600	0.189	3.166		
	7.85	1.00	砂質土		11.0	7.30	18.0	19.0	86.1	140.6	13.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	16.6	18.42	0.206	0.193	1.070		
	8.85	1.00	砂質土		10.0	8.30	18.0	19.0	95.1	159.6	13.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	18.5	16.83	0.184	0.195	0.946		
10	9.85	1.00	砂質土		16.0	9.30	18.0	19.0	104.1	178.6	13.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	20.4	22.21	0.305	0.196	1.559		
	11.85	2.00					18.0	19.0															

地 点 名：海上支所
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 0.0 Dcy(建築指針)= 0.0 cm Dcy(高压ガス指針)= 0.0 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 0.0 cm

地点名	地震計位置_海上支所	PL値 水の単位体積重量 上載荷重 使用曲線 設計加速度 マグニチュード 地表変位(Dcy)	0.00 10.0 (kN/m ³) 0.0 (kN/m ²) γ= 5 (%) 200.00 (gal) 7.5 0.00 (cm)	地下水位面 0.00 (m) (注) 判定外 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い) **2 τ d/σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い) **3 Fc〜∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い) **4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である
基準名	建築基礎構造設計指針			液状化の程度 なし
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値 ∠Nf=11一定とする			

標尺	土 質 特 性													応 算 力 出 比 法	液 を 状 化 考 慮 判 定	せん断振幅		液状化の判定									
	深 さ	層 厚	土 層 種 類	N 値	判定 深 さ	湿 潤 重 量	飽 和 重 量	有 上 載 効 圧 σ' v	全 上 載 圧	細 粒 含 有 率	平 均 粒 径	コ ー ン 抵 抗 値 貫 入 (kN/m ²)	周 辺 抗 摩 擦 (kN/m ²)			低 減 係 数	せん 断 力 断	補 正 N 値	液 抵 状 化 比 τ / σ' v	せん 断 力 断 比 τ d / σ' v	判 定						
																						FL	0	1	2		
(m)	(m)	(m)			(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(kN/m ²)	Na	τ / σ' v	τ d / σ' v	FL								
0	0.0 0.40	0.40																									
	1.40	1.00	砂質土		23.0	1.30	18.0	19.0		11.7	24.7	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	3.2	73.61	0.600	0.275	2.185				
	2.40	1.00	砂質土		34.0	2.30	18.0	19.0		20.7	43.7	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	5.6	81.02	0.600	0.270	2.219				
	3.40	1.00	砂質土		68.0	3.30	18.0	19.0		29.7	62.7	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	7.9	130.56	0.600	0.266	2.254				
	4.40	1.00	砂質土		79.0	4.30	18.0	19.0		38.7	81.7	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	10.1	132.75	0.600	0.262	2.290				
	5.40	1.00	砂質土		43.0	5.30	18.0	19.0		47.7	100.7	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	12.3	68.67	0.600	0.258	2.328				
	6.40	1.00	砂質土		58.0	6.30	18.0	19.0		56.7	119.7	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	14.4	83.29	0.600	0.254	2.366				
	7.40	1.00	砂質土		63.0	7.30	18.0	19.0		65.7	138.7	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	16.4	83.98	0.600	0.249	2.406				
	8.40	1.00	砂質土		42.0	8.30	18.0	19.0		74.7	157.7	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	18.3	55.15	0.600	0.245	2.447				
	9.40	1.00	砂質土		75.0	9.30	18.0	19.0		83.7	176.7	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	20.2	88.19	0.600	0.241	2.490				
10	10.40	1.00																									
	11.40	1.00																									

地 点 名：飯岡支所
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 0.0 Dcy(建築指針)= 0.0 cm Dcy(高压ガス指針)= 0.6 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 0.0 cm

地点名	地震計位置_飯岡支所	PL値 水の単位体積重量 上載荷重 使用曲線 設計加速度 マグニチュード 地表変位(Dcy)	0.00 10.0 (kN/m ³) 0.0 (kN/m ²) γ= 5 (%) 200.00 (gal) 7.5 0.00 (cm)	地下水位面 1.10 (m) (注) 判定外 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い) **2 τ d/σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い) **3 Fc〜∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い) **4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である
基準名	建築基礎構造設計指針			液状化の程度 なし
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値 ∠Nf=11一定とする			

標尺	土 質 特 性													応 算 力 出 比 法	液 を 状 考 慮 判 定	せん断振幅			液状化の判定						
	深 さ	層 厚	土 層 種 類	N 値	判定 深 さ	湿 潤 重 量	飽 和 重 量	有 上 載 効 圧 σ' v	全 上 載 圧	細 粒 含 有 率	平 均 粒 径	コ 抵 抗 値 貫 入	周 抵 抗 摩 擦			低 減 係 数	せん 断 力 断	補 正 N 値	液 抵 抗 比	せん 断 力 断 比	判 定				
																					FL				
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(kN/m ²)	Na	τ 1/σ' v	τ d/σ' v	FL	0	1	2			
0	0.0																								
	1.10	1.10	砂質土		5.0	1.30	20.0	21.0	23.8	25.8	30.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	3.4	19.15	0.219	0.141	1.555				
	2.10	1.00	砂質土		23.0	2.30	18.0	19.0	32.8	44.8	10.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	5.7	45.86	0.600	0.175	3.430				
	3.10	1.00	砂質土		23.0	3.30	18.0	19.0	41.8	63.8	16.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	8.0	42.42	0.600	0.192	3.118				
	4.10	1.00	砂質土		21.0	4.30	18.0	19.0	50.8	82.8	25.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	10.3	37.72	0.600	0.202	2.966				
	5.10	1.00	砂質土		26.0	5.30	18.0	19.0	59.8	101.8	15.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	12.4	40.38	0.600	0.208	2.886				
	6.10	1.00	砂質土		35.0	6.30	18.0	19.0	68.8	120.8	21.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	14.5	49.92	0.600	0.211	2.845				
	7.10	1.00	砂質土		34.0	7.30	18.0	19.0	77.8	139.8	18.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	16.5	45.86	0.600	0.212	2.827				
	8.10	1.00	砂質土		43.0	8.30	18.0	19.0	86.8	158.8	18.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	18.4	53.39	0.600	0.212	2.824				
	9.30	1.20	砂質土		14.0	9.30	18.0	19.0	95.8	177.8	17.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	20.3	21.56	0.282	0.212	1.329				
10	10.50	1.20				18.0	19.0																		
	11.70	1.20				18.0	19.0																		

地 点 名：干潟支所
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 2.9 Dcy(建築指針)= 1.4 cm Dcy(高压ガス指針)= 3.5 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 3.2 cm

地点名	地震計位置_干潟支所	PL値 水の単位体積重量 上載荷重 使用曲線 設計加速度 マグニチュード 地表変位(Dcy)	2.86 10.0 (kN/m ³) 0.0 (kN/m ²) γ= 5 (%) 200.00 (gal) 7.5 1.32 (cm)	地下水位面 0.00 (m) (注) 判定外 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い) **2 τ d/σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い) **3 Fc〜∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い) **4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である
基準名	建築基礎構造設計指針			液状化の程度 軽微
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値 ∠Nf=11一定とする			

標尺	土 質 特 性												応 力 出 力 比 法	液 状 化 考 慮 判 定	せん断振幅			液状化の判定						
	深 さ	層 厚	土 層 種 類	N 値	判定 深 さ	湿 潤 重 量	飽 和 重 量	有 上 載 効 圧 σ' v	全 上 載 圧	細 粒 含 有 率	平 均 粒 径 D50	コ 抵 抗 値 貫 入			周 抵 抗 摩 擦	低 減 係 数	せん 断 力 断	補 正 N 値	液 状 化 比	せん 断 力 断 比	判 定			
																					FL	0	1	2
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(kN/m ²)	Na	τ 1/σ' v	τ d/σ' v	FL	0	1	2		
0	0.0																							
	1.00	1.00	砂質土		7.0	1.30	18.0	19.0	11.7	24.7	20.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	3.2	28.26	0.600	0.275	2.185			
	2.00	1.00	砂質土		4.0	2.30	18.0	19.0	20.7	43.7	20.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	5.6	16.70	0.183	0.270	0.677			
	3.00	1.00	砂質土		8.0	3.30	18.0	19.0	29.4	62.4	20.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	7.9	22.61	0.322	0.288	1.203			
	4.00	1.00	粘性土		21.0	4.30	17.0	18.0	37.4	80.4	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	0.000	0.0	44.99	0.600	0.000				
	5.00	1.00	粘性土		22.0	5.30	17.0	18.0	45.4	98.4	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	0.000	0.0	43.32	0.600	0.000				
	6.00	1.00	粘性土		17.0	6.30	17.0	18.0	53.4	116.4	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	0.000	0.0	34.03	0.600	0.000				
	7.00	1.00	粘性土		16.0	7.30	17.0	18.0	61.4	134.4	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	0.000	0.0	31.21	0.600	0.000				
	8.00	1.00	粘性土		23.0	8.30	17.0	18.0	69.4	152.4	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	0.000	0.0	38.33	0.600	0.000				
	9.00	1.00	粘性土		20.0	9.30	17.0	18.0	77.4	170.4	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	0.000	0.0	33.50	0.600	0.000				
10	10.00	1.00					17.0	18.0																
	12.00	2.00					17.0	18.0																

地 点 名：旭中央病院
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 3.2 Dcy(建築指針)= 1.6 cm Dcy(高圧ガス指針)= 4.5 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 9.3 cm

地点名		被害家屋密集域_旭_内陸側_中央病院B-1										P L値		3.23	地下水位面		0.00 (m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
												水の単位体積重量		10.0	(kN/m³)		(注)	判定外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
												上載荷重		0.0	(kN/m²)		**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
												使用曲線		γ = 5	(%)		**2 τ d/ σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
												設計加速度		200.00	(gal)		**3 Fc ~ NFグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
												マグニチュード		7.5			**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
基準名		建築基礎構造設計指針										地表変位(Dcy)		1.53	(cm)		液状化の程度 軽微																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測N値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
Fc>50%の取扱い		△NF=11一定とする																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
標準尺	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応算力出法	液を状化處判定	せん断振幅		液状化の判定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コレシオン値費入	周断面抗摩擦			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗比	せん断力断比	判定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
0 50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)											(kN/m²)	(kN/m²)							(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	Na	τ l/ σ' v	τ d/ σ' v	FL	0 1 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

地 点 名：日の出保育所
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 12.5 Dcy(建築指針)= 22.8 cm Dcy(高圧ガス指針)= 8.8 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 19.6 cm

地点名	被害家屋密集域_旭_砂鉄趾区										PL値	12.54	地下水位面	1.50 (m)										
											水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注)	判定外										
											上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)											
											使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d / σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)											
											設計加速度	200.00 (gal)	**3 Fe<∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)											
											マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である											
	Fc>50%の取扱い										地表変位(Dcy)	22.40 (cm)	液状化の程度 大											
標準 尺	深 さ	層 厚	土 層 種 類	土 質 特 性										応 算 力 出 法	液を 状 化 處 判 定	せん断振幅		液状化の判定						判 定
				N 値	判定 深さ	湿潤 重量	飽和 重量	有上 載 効 圧	全上 載 圧	細含 粒有 土率	平均 粒 径	コ レ シ テ ン シ オ ン 値 費 入	周 辺 面 抗 摩 擦			低減 係 数	せん 断 力 断	補 正 N 値	液抵抗 化比	せん 断 力 断比	FL			
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)				(kN/m ²)	Na	τ l / σ' v	τ d / σ' v	0 1 2			
0	0.0																							
	1.35	1.35	砂質土		7.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	30.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	3.4	22.59	**1	**1	**1			
	2.35	1.00	砂質土		3.0	2.30	20.0	21.0	38.8	46.8	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	6.0	4.77	0.090	0.154	0.580			
	3.35	1.00	砂質土		2.0	3.30	20.0	21.0	49.8	67.8	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	8.5	2.81	0.069	0.172	0.400			
	4.35	1.00	砂質土		3.0	4.30	20.0	21.0	60.8	88.8	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	11.0	3.81	0.080	0.181	0.442			
	5.35	1.00	砂質土		26.0	5.30	18.0	19.0	69.9	107.9	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	13.2	31.99	0.600	0.188	3.183			
	6.35	1.00	砂質土		32.0	6.30	18.0	19.0	78.9	126.9	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	15.2	36.86	0.600	0.193	3.106			
	7.35	1.00	砂質土		27.0	7.30	18.0	19.0	87.9	145.9	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	17.2	29.71	0.600	0.196	3.060			
	8.35	1.00	砂質土		44.0	8.30	18.0	19.0	96.9	164.9	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	19.2	45.45	0.600	0.198	3.036			
	9.35	1.00	砂質土		50.0	9.30	18.0	19.0	105.9	183.9	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	21.0	49.30	0.600	0.198	3.027			
10	11.35	2.00					18.0	19.0																

地 点 名：飯岡体育館
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 11.2 Dcy(建築指針)= 16.9 cm Dcy(高圧ガス指針)= 15.8 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 34.1 cm

地点名	飯岡体育館										PL値	11.18	地下水位面	1.72 (m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
											水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	(注)	判定外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
											上載荷重	0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
											使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
											設計加速度	200.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
											マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
基準名	建築基礎構造設計指針										地表変位(Dcy)	14.93 (cm)	液状化の程度 中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
標準尺	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応算力出法	液を状化處判定	せん断振幅		液状化の判定						判 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧 $\sigma'v$	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コレシオン貫入	周囲面抗摩擦			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗化比 $\tau l/\sigma'v$	せん断力断比 $\tau d/\sigma'v$	FL	0	1		2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		(m)	(m)											(kN/m³)	(kN/m³)									(kN/m²)		(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)	(kN/m²)

地 点 名：HB-1
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 16.9 Dcy(建築指針)= 31.2 cm Dcy(高圧ガス指針)= 12.1 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 26.8 cm

地点名		HB-1		P L 値		16.85		地下水位面		1.90 (m)	
				水の単位体積重量		10.0 (kN/m³)		(注) 判定外			
				上載荷重		0.0 (kN/m²)		**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)			
				使用曲線		γ = 5 (%)		**2 τ d / σ' v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)			
基準名		建築基礎構造設計指針		設計加速度		200.00 (gal)		**3 Fc ~ ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)			
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測N値		マグニチュード		7.5		**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である			
Fc > 50%の取扱い		∠Nf = 11一定とする		地表変位(Dcy)		27.20 (cm)		液状化の程度 大			

標尺	深さ (m)	層厚 (m)	土層種類	N 値	判定深さ (m)	湿潤重量 (kN/m³)	飽和重量 (kN/m³)	土 質 特 性							応算力出法	液を考慮判定	せん断振幅					液状化の判定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
								有上載効圧 σ' v (kN/m²)	全上載圧 (kN/m²)	細含粒有土率 (%)	平均粒径 D50	コ抵抗ン値貫入 (kN/m²)	周抵抗摩擦 (kN/m²)	低減係数			せん断力断 Na (kN/m²)	補正N値 τ 1 / σ' v	液抵抗化比 τ d / σ' v	せん断力断比 τ d / σ' v	FL	判 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

地 点 名：HB-2
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 15.3 Dcy(建築指針)= 29.7 cm Dcy(高圧ガス指針)= 15.5 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 32.6 cm

地点名		HB-2		P L 値		15.28		地下水位面		2.03 (m)	
				水の単位体積重量		10.0 (kN/m³)		(注)		判定外	
				上載荷重		0.0 (kN/m²)				**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
				使用曲線		γ = 5 (%)				**2 τ d / σ' v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名		建築基礎構造設計指針		設計加速度		200.00 (gal)				**3 Fe ~ ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測N値		マグニチュード		7.5				**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
Fc>50%の取扱い		∠Nf = 11一定とする		地表変位(Dcy)		29.63 (cm)				液状化の程度 大	

標尺	深さ	土 質 特 性										液を状態化考慮判定	せん断振幅					液状化の判定					判定
		層厚	土層種類	N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径		コ抵抗ン値貫入	周抵抗摩擦	低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗化比	せん断力断比	FL			
(m)	(m)	(m)			(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	σ' v (kN/m²)	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)		(kN/m²)	Na	τ 1 / σ' v	τ d / σ' v					
0	0.0																						
	0.90	0.90	砂質土		7.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	2.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	3.4	13.59	**1	**1	**1		
	1.00	0.10																					
	2.03	1.03	砂質土		5.0	2.30	20.0	21.0	43.6	46.3	2.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	5.9	7.50	0.132	0.136	0.827		
	3.03	1.00	砂質土		5.0	3.30	20.0	21.0	54.6	67.3	2.8	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	8.5	6.70	0.106	0.155	0.684		
	4.23	1.20	砂質土		4.0	4.30	20.0	21.0	65.6	88.3	3.3	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	11.0	4.89	0.091	0.167	0.543		
	5.43	1.20	砂質土		2.0	5.30	20.0	21.0	76.6	109.3	3.3	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	13.3	2.26	0.062	0.174	0.354		
	6.90	1.37	砂質土		3.0	6.30	20.0	21.0	87.6	130.3	2.1	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	15.6	3.17	0.073	0.179	0.409		
	7.90	1.00	砂質土		17.0	7.30	20.0	21.0	97.6	150.3	4.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	17.8	17.04	0.187	0.182	1.027		
	8.90	1.00	砂質土		22.0	8.30	18.0	19.0	106.6	169.3	3.3	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	19.7	21.10	0.267	0.184	1.446		
10	10.10	1.30	砂質土		26.0	9.30	18.0	19.0	115.6	188.3	6.2	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	21.5	25.38	0.492	0.186	2.446		
	11.50	1.40					18.0	19.0															
	12.90	1.45					18.0	19.0															

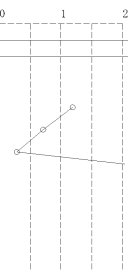
地 点 名：HB-3
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 13.5 Dcy(建築指針)= 26.4 cm Dcy(高圧ガス指針)= 11.3 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 25.3 cm

地点名		HB-3		P L 値		13.51		地下水位面		1.67 (m)												
				水の単位体積重量		10.0 (kN/m³)		(注) 判定外														
				上載荷重		0.0 (kN/m²)		**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)														
				使用曲線		γ = 5 (%)		**2 τ d / σ' v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)														
基準名		建築基礎構造設計指針		設計加速度		200.00 (gal)		**3 Fc ~ ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)														
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測N値		マグニチュード		7.5		**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である														
Fc > 50%の取扱い		∠Nf = 11一定とする		地表変位(Dcy)		25.79 (cm)		液状化の程度 大														
標尺	深さ	層厚	土層種類	N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗ン値貫入	周抵抗摩擦	応算力出法	液を状態化考慮判定	せん断振幅		液状化の判定				
																低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗化比	せん断力断比	判 定	
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	(kN/m²)	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)			(kN/m²)	Na	τ 1 / σ' v	τ d / σ' v	FL	0 1 2	
0	0.0																					
	0.60	0.60	砂質土		3.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	6.7	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	3.4	7.86	**1	**1	**1
	1.67	1.07	砂質土		3.0	2.30	20.0	21.0	40.3	46.6	4.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	6.0	4.68	0.089	0.148	0.599
	2.80	0.70	砂質土		5.0	3.30	20.0	21.0	51.3	67.6	2.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	8.5	6.91	0.108	0.166	0.650
	3.80	1.00	砂質土		3.0	4.30	20.0	21.0	62.3	88.6	2.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	11.0	3.76	0.080	0.176	0.451
	4.80	1.00	砂質土		4.0	5.30	20.0	21.0	73.3	109.6	3.6	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	13.4	4.62	0.088	0.183	0.483
	5.80	1.00	砂質土		23.0	6.30	20.0	21.0	83.3	129.6	2.1	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	15.6	24.94	0.457	0.187	2.448
	6.80	1.00	砂質土		65.0	7.30	18.0	19.0	92.3	148.6	4.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	17.6	66.97	0.600	0.190	3.155
10	7.80	1.00	砂質土		54.0	8.30	18.0	19.0	101.3	167.6	3.8	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	19.5	53.11	0.600	0.192	3.123
	8.80	1.00	砂質土		27.0	9.30	18.0	19.0	110.3	186.6	6.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	21.3	26.89	0.600	0.193	3.107
	9.80	1.00					18.0	19.0														
	11.80	2.00					18.0	19.0														

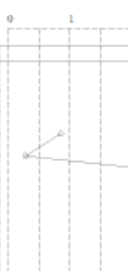
地 点 名： HA-1
タイプ 1： M7.5, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 9.0 Dcy(建築指針)= 13.8 cm Dcy(高圧ガス指針)= 6.4 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 13.7 cm

地点名	HA-1										P L 値	9.04	地下水位面	2.30 (m)										
											水の単位体積重量	10.0 (kN/m ²)	(注) 判定外											
											上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)											
											使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d / σ' v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)											
基準名	建築基礎構造設計指針										設計加速度	200.00 (gal)	**3 Fc ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)											
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測 N 値										マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である											
Fc > 50% の取扱い	∠Nf = 11一定とする										地表変位(Dcy)	12.74 (cm)	液状化の程度 中											
標 尺	深 さ (m)	層 厚 (m)	土 層 種 類	N 値 	判定 深 さ (m)	土 質 特 性					応 算 力 出 法	液 を 状 考 化 慮 判 定	せん断振幅					液状化の判定						
						湿 潤 重 量 (kN/m ³)	飽 和 重 量 (kN/m ³)	有 上 載 効 圧 σ' v (kN/m ²)	全 上 載 圧 (kN/m ²)	細 骨 粒 有 土 率 (%)			平 均 粒 径 D50	コ 抵 抗 ン 値 貫 入 (kN/m ²)	周 抵 面 抗 摩 擦 (kN/m ²)	低 減 係 数	せ 応 ん 力 断 (kN/m ²)	補 正 N 値 Na	液 抵 状 抗 化 比 τ 1 / σ' v	せ 応 ん 力 断 比 τ d / σ' v	判 定 FL 			
0	0.0																							
	0.70	0.70	砂質土		8.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	2.4	0.000	0.00	0.00	N 値		0.980	3.4	15.53	***1	***1	***1		
	1.50	0.80	砂質土		9.0	2.30	20.0	21.0	46.0	46.0	3.2	0.000	0.00	0.00	N 値		0.965	5.9	13.14	0.152	0.128	1.184		
	2.30	0.80	砂質土														0.951	8.4	6.56	0.105	0.148	0.709		
	3.50	1.20	砂質土		5.0	3.30	20.0	21.0	57.0	67.0	2.4	0.000	0.00	0.00	N 値		0.936	10.9	1.20	0.045	0.161	0.280		
	4.80	1.30	砂質土		1.0	4.30	20.0	21.0	68.0	88.0	4.4	0.000	0.00	0.00	N 値		0.920	13.2	39.23	0.600	0.169	3.549		
	5.80	1.00	砂質土		35.0	5.30	18.0	19.0	78.0	108.0	5.0	0.000	0.00	0.00	N 値		0.905	15.3	42.45	0.600	0.175	3.422		
	6.80	1.00	砂質土		40.0	6.30	18.0	19.0	87.0	127.0	3.6	0.000	0.00	0.00	N 値		0.891	17.2	48.04	0.600	0.180	3.340		
	7.80	1.00	砂質土		46.0	7.30	18.0	19.0	96.0	146.0	6.3	0.000	0.00	0.00	N 値		0.876	19.2	47.32	0.600	0.183	3.288		
	8.80	1.00	砂質土		46.0	8.30	18.0	19.0	105.0	165.0	7.4	0.000	0.00	0.00	N 値		0.860	21.0	27.76	0.600	0.184	3.257		
10	9.80	1.00	砂質土		28.0	9.30	18.0	19.0	114.0	184.0	6.5	0.000	0.00	0.00	N 値									
	11.80	2.00					18.0	19.0																

地 点 名： HA-2
タイプ 1： M7.5, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 6.5 Dcy(建築指針)= 10.0 cm Dcy(高圧ガス指針)= 5.5 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 13.3 cm

地点名		HA-2				P L 値				6.46	地下水位面 2.50 (m)													
						水の単位体積重量				10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外													
						上載荷重				0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)													
						使用曲線				γ = 5 (%)	**2 τ d / σ' v が 0.0 以下である(液状化の可能性は低い)													
基準名		建築基礎構造設計指針				設計加速度				200.00 (gal)	**3 Fc ~ ∠NF グラフ 範囲外(液状化の可能性は低い)													
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測 N 値				マグニチュード				7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が 0.0 以下となる層である													
Fc > 50% の取扱い		∠NF = 11 一定とする				地表変位(Dcy)				9.90 (cm)	液状化の程度 小													
標尺	深さ (m)	層厚 (m)	土層種類	N 値 	判定深さ (m)	土 質 特 性								応算力出法	液を考慮判定	せん断振幅		液状化の判定				判 定 FL 		
						湿潤重量 (kN/m ³)	飽和重量 (kN/m ³)	有上載効圧 σ' v (kN/m ²)	全上載圧 (kN/m ²)	細骨粒有土率 (%)	平均粒径 D50	コ抵抗値 貫入 (kN/m ²)	周抵抗面 摩擦 (kN/m ²)			低減係数	せん断力断 (kN/m ²)	補正 N 値 Na	液抵抗比 τ 1 / σ' v	せん断力断比 τ d / σ' v	F L			
0	0.0																							
	0.95	0.95	砂質土		5.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	6.6	0.000	0.00	0.00	0.00	N 値		0.980	3.4	11.03	##1	##1	##1	
	1.95	1.00	砂質土		6.0	2.30	20.0	21.0	46.0	46.0	3.9	0.000	0.00	0.00	0.00	N 値		0.965	5.9	8.76	##1	##1	##1	
	2.95	1.00	砂質土																					
	3.95	1.00	砂質土		7.0	3.30	20.0	21.0	58.8	66.8	3.2	0.000	0.00	0.00	0.00	N 値		0.951	8.4	9.04	0.124	0.143	0.883	
	4.90	0.95	砂質土		1.0	4.30	20.0	21.0	69.8	87.8	4.8	0.000	0.00	0.00	0.00	N 値		0.936	10.9	1.18	0.045	0.156	0.286	
	5.90	1.00	砂質土		34.0	5.30	18.0	19.0	80.0	108.0	10.6	0.000	0.00	0.00	0.00	N 値		0.920	13.2	43.75	0.600	0.165	3.640	
	6.90	1.00	砂質土		37.0	6.30	18.0	19.0	89.0	127.0	7.0	0.000	0.00	0.00	0.00	N 値		0.905	15.3	41.23	0.600	0.171	3.591	
	7.90	1.00	砂質土		45.0	7.30	18.0	19.0	96.0	146.0	11.5	0.000	0.00	0.00	0.00	N 値		0.891	17.2	51.30	0.600	0.176	3.400	
	8.90	1.00	砂質土		47.0	8.30	18.0	19.0	107.0	165.0	14.0	0.000	0.00	0.00	0.00	N 値		0.876	19.2	51.78	0.600	0.179	3.350	
10	9.90	1.00	砂質土		39.0	9.30	18.0	19.0	116.0	184.0	8.1	0.000	0.00	0.00	0.00	N 値		0.860	21.0	39.57	0.600	0.181	3.314	
	10.90	1.00					18.0	19.0																
	12.90	2.00						18.0	19.0															

地 点 名： NK-1
タイプ 1： M7.5, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 0.0 Dcy(建築指針)= 0.0 cm Dcy(高圧ガス指針)= 1.0 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 0.0 cm

地点名	NK-1										P L 値		0.00	地下水位面 1.20 (m)								
											水の単位体積重量		10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外								
											上載荷重		0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)								
											使用曲線		γ = 5 (%)	**2 τ d / σ' v が 0.0 以下である(液状化の可能性は低い)								
基準名	建築基礎構造設計指針										設計加速度		200.00 (gal)	**3 Fc ~ ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)								
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測 N 値										マグニチュード		7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が 0.0 以下となる層である								
Fc > 50% の取扱い	∠Nf = 11 一定とする										地表変位(Dcy)		0.00 (cm)	液状化の程度 なし								
標 尺	深 さ	層 厚	土 層 種 類	N 値	判定 深 さ	土 質 特 性							応 算 力 出 法	せん断振幅		液状化の判定						
						湿 潤 重 量	飽 和 重 量	有 上 載 効 圧	全 上 載 圧	細 骨 粒 有 土 率	平 均 粒 径	コ 抵 抗 ン 値 貫 入		周 抵 面 抗 摩 擦	低 減 係 数	せ 応 ん 力 断	補 正 N 値	液 抵 状 抗 化 比	せ 応 ん 力 断 比	判 定		
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(kN/m ²)	Na	τ 1 / σ' v	τ d / σ' v	F L	0 1 2		
0	0.0																					
	1.20	1.20	砂質土		1.0	1.30	20.0	21.0	24.9	25.9	34.4	0.000	0.00	0.00	N 値	0.980	3.4	11.42	0.140	0.135	1.033	
	2.20	1.00	砂質土		15.0	2.30	18.0	19.0	33.9	44.9	5.0	0.000	0.00	0.00	N 値	0.965	5.8	25.50	0.502	0.170	2.960	
	3.20	1.00	砂質土		34.0	3.30	18.0	19.0	42.9	63.9	5.8	0.000	0.00	0.00	N 値	0.951	8.1	52.35	0.600	0.188	3.195	
	4.20	1.00	砂質土		43.0	4.30	18.0	19.0	51.9	82.9	4.3	0.000	0.00	0.00	N 値	0.936	10.3	59.09	0.600	0.198	3.027	
	5.20	1.00	砂質土		35.0	5.30	18.0	19.0	60.9	101.9	4.2	0.000	0.00	0.00	N 値	0.920	12.4	44.40	0.600	0.204	2.937	
	6.20	1.00	砂質土		22.0	6.30	18.0	19.0	69.9	120.9	5.0	0.000	0.00	0.00	N 値	0.905	14.5	26.05	0.552	0.208	2.655	
	7.20	1.00	砂質土		22.0	7.30	18.0	19.0	78.9	139.9	3.0	0.000	0.00	0.00	N 値	0.891	16.5	24.52	0.427	0.209	2.039	
	8.20	1.00	砂質土		41.0	8.30	18.0	19.0	87.9	158.9	6.5	0.000	0.00	0.00	N 値	0.876	18.5	45.09	0.600	0.210	2.858	
	9.20	1.00	砂質土		31.0	9.30	18.0	19.0	96.9	177.9	6.9	0.000	0.00	0.00	N 値	0.860	20.3	33.46	0.600	0.210	2.863	
10	10.20	1.00					18.0	19.0														

地 点 名： JG-S-1

地 点 名：NH-S-1
タイプ 1：M7.5, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 0.0 Dcy(建築指針)= 0.0 cm Dcy(高压ガス指針)= 1.8 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 0.0 cm

地点名	NH-S-1	PL値 水の単位体積重量 上載荷重 使用曲線 設計加速度 マグニチュード 地表変位(Dcy)	0.00 10.0 (kN/m ³) 0.0 (kN/m ²) $\gamma = 2$ (%) 200.00 (gal) 7.5 0.00 (cm)	地下水位面 1.91 (m) (注) 判定外 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い) **2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い) **3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い) **4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である 液状化の程度 なし
基準名	建築基礎構造設計指針			
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値			
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする			

標 尺	深 さ	層 厚	土 層 種 類	土 質 特 性										応 力 比 出 法	液 を 状 考 化 考 定	せん断振幅			液状化の判定				
				N 値		判定 深さ S	湿潤 重量	飽和 重量	有上 載効 圧 σ'v	全上 載圧	細含 粒有 土率	平均 粒 径	コ レ シ ン 貫 入			周 面 抵 抗 摩 擦	低減 係数	せん 断力 断	補正 N値	液抵 抗比 化	せん 断力 断比	判 定	
(m)	(m)	(m)		0	50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	(kN/m²)	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)		(kN/m²)	Na	τ / σ'v	τ d / σ'v	FL	0	1	2
0	0.0																						
	0.50	0.60	砂質土			7.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	3.8	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	3.4	13.59	**1	**1	**1	
	1.91	1.31	砂質土			4.0	2.30	20.0	21.0	42.5	46.4	20.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	5.9	14.12	0.182	0.140	1.302	
	2.80	0.89	砂質土			4.0	3.30	20.0	21.0	53.5	67.4	20.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	8.5	13.46	0.182	0.159	1.146	
	3.80	1.00	砂質土			5.0	4.30	20.0	21.0	64.5	88.4	6.3	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	11.0	7.72	0.182	0.170	1.070	
	4.80	1.00	砂質土			28.0	5.30	20.0	21.0	74.5	108.4	20.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	13.2	40.17	0.600	0.178	3.377	
	5.80	1.00	砂質土			30.0	6.30	18.0	19.0	83.5	127.4	4.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	15.3	32.50	0.600	0.183	3.274	
	6.80	1.00	砂質土			29.0	7.30	18.0	19.0	92.5	146.4	18.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	17.3	37.53	0.600	0.187	3.209	
	7.80	1.00	砂質土			23.0	8.30	18.0	19.0	101.5	165.4	13.7	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	19.2	29.34	0.429	0.189	2.269	
	8.80	1.00	砂質土			31.0	9.30	18.0	19.0	110.5	184.4	14.7	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	21.0	36.14	0.600	0.190	3.150	
10	9.80	1.00						18.0	19.0														
	11.02	1.22						18.0	19.0														
	12.02	1.00						18.0	19.0														

地 点 名：SN-S-1
タイプ 1：M7.5, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 0.4 Dcy(建築指針)= 13.1 cm Dcy(高压ガス指針)= 3.9 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 15.7 cm

地点名	SN-S-1	PL値 水の単位体積重量 上載荷重 使用曲線 設計加速度 マグニチュード 地表変位(Dcy)	0.36 10.0 (kN/m ³) 0.0 (kN/m ²) $\gamma = 5$ (%) 200.00 (gal) 7.5 10.61 (cm)	地下水位面 1.20 (m) (注) 判定外 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い) **2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い) **3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い) **4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である 液状化の程度 中
基準名	建築基礎構造設計指針			
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値			
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする			

標 尺	土 質 特 性												応 力 比 出 法	液 を 状 考 化 考 定	せん断振幅					液状化の判定				
	深 さ	層 厚	土 層 種 類	N 値 0 50	判定 深さ	湿潤 重量	飽和 重量	有上 載 効 圧	全上 載 圧	細含 粒有 土率	平均 粒 径	コ レ シ ン 貫 入			周 抵 面 抗 摩 擦	低 減 係 数	せん 断 力 断	補 正 N 値	液 抵 抗 化 比	せん 断 力 断 比	判 定			
(m)	(m)	(m)			(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(kN/m ²)	Na	τ 1/σ'v	τ d/σ'v	FL	0	1	2		
0	0.0																							
	1.20	1.20	砂質土		5.0	1.30	20.0	21.0	25.1	26.1	4.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	3.4	9.88	0.182	0.135	1.346		
	2.50	1.30	砂質土		2.0	2.30	20.0	21.0	35.1	47.1	4.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	6.0	3.30	0.182	0.167	1.089		
	3.80	1.30	砂質土		2.0	3.30	20.0	21.0	47.1	68.1	4.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	8.6	2.88	0.182	0.182	0.998		
	4.80	1.00	砂質土		8.0	4.30	20.0	21.0	58.1	89.1	5.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	11.1	10.29	0.182	0.190	0.956		
	5.80	1.00	砂質土		28.0	5.30	18.0	19.0	68.1	109.1	2.1	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	13.3	33.59	0.600	0.196	3.067		
	6.80	1.00	砂質土		22.0	6.30	18.0	19.0	77.1	128.1	2.1	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	15.4	24.80	0.447	0.200	2.240		
	7.80	1.00	砂質土		26.0	7.30	18.0	19.0	86.1	147.1	5.6	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	17.4	28.46	0.600	0.202	2.973		
	8.80	1.00	砂質土		20.0	8.30	18.0	19.0	95.1	166.1	9.1	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	19.3	25.22	0.479	0.203	2.362		
	9.80	1.00	砂質土		31.0	9.30	18.0	19.0	104.1	185.1	6.9	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	21.1	32.36	0.600	0.203	2.956		
10	10.80	1.00				18.0	19.0																	
	12.01	1.21				18.0	19.0																	

地 点 名：AH-1
タイプ 1：M7.5, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 1.4 Dcy(建築指針)= 1.6 cm Dcy(高压ガス指針)= 3.7 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 12.4 cm

地点名	AH-1	PL値 水の単位体積重量 上載荷重 使用曲線 設計加速度 マグニチュード 地表変位(Dcy)	1.37 10.0 (kN/m ³) 0.0 (kN/m ²) $\gamma = 5$ (%) 200.00 (gal) 7.5 1.75 (cm)	地下水位面 1.05 (m) (注) 判定外 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い) **2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い) **3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い) **4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である 液状化の程度 軽微
基準名	建築基礎構造設計指針			
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値			
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする			

標 尺	土 質 特 性													応 力 比 出 法	液 を 状 化 考 定	せん断振幅		液状化の判定						
	深 さ	層 厚	土 層 種 類	N 値	判定 深さ	湿潤 重量	飽和 重量	有上 載 効 圧 $\sigma'v$	全上 載 圧	細含 粒有 土率	平均 粒 径	コ レ シ ン 貫 入 値	周 抵 面 抗 摩 擦			低 減 係 数	せん 断 力 断	補 正 N 値	液 状 化 比	せん 断 力 断 比	判 定	FL		
																						0	50	0
(m)	(m)	(m)			(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(kN/m ²)	Na	$\tau / \sigma'v$	$\tau d / \sigma'v$						
0	0.0													N値		0.980	3.4	20.31	0.245	0.144	1.704			
	1.05	1.05	砂質土		10.0	1.30	20.0	21.0	23.8	26.3	3.1	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	6.1	15.11	0.167	0.174	0.960			
	1.95	0.90	砂質土		9.0	2.30	20.0	21.0	34.8	47.3	3.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	8.6	14.64	0.163	0.188	0.867			
	2.85	0.90	砂質土		10.0	3.30	20.0	21.0	45.8	68.3	4.8	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	11.0	38.68	0.600	0.196	3.054			
	3.80	0.95	砂質土		27.0	4.30	20.0	21.0	55.8	88.3	7.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	13.1	38.56	0.600	0.202	2.967			
	4.80	1.00	砂質土		29.0	5.30	18.0	19.0	64.8	107.3	7.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	15.2	42.93	0.600	0.206	2.918			
	5.80	1.00	砂質土		32.0	6.30	18.0	19.0	73.8	126.3	10.2	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	17.2	37.58	0.600	0.207	2.894			
	6.80	1.00	砂質土		31.0	7.30	18.0	19.0	82.8	145.3	8.2	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	19.1	43.37	0.600	0.208	2.886			
	7.80	1.00	砂質土		36.0	8.30	18.0	19.0	91.8	164.3	10.8	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	20.9	26.99	0.600	0.208	2.890			
	9.12	1.32	砂質土		27.0	9.30	18.0	19.0	100.8	183.3	5.3	0.000	0.00	0.00	N値									
10	10.12	1.00				18.0	19.0																	
	12.12	2.00				18.0	19.0																	

地 点 名：SN-S-2
タイプ 1：M7.5, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 0.1 Dcy(建築指針)= 11.0 cm Dcy(高压ガス指針)= 3.6 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 9.4 cm

地点名	SN-S-2	PL値 水の単位体積重量 上載荷重 使用曲線 設計加速度 マグニチュード 地表変位(Dcy)	0.07 10.0 (kN/m ³) 0.0 (kN/m ²) $\gamma = 5$ (%) 200.00 (gal) 7.5 8.00 (cm)	地下水位面 1.43 (m) (注) 判定外 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い) **2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い) **3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い) **4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である 液状化の程度 小
基準名	建築基礎構造設計指針			
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値			
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする			

標 尺	深 さ	層 厚	土 層 種 類	土 質 特 性										応 力 比 出 法	液 を 状 考 化 考 定	せん断振幅			液状化の判定						
				N 値	判定 深さ	含水量 w	飽和 重量	有上載 効力 $\sigma'v$	全土 載圧	細粒有土率	平均粒 径	ρ 抵抗 係数 ρ	ρ 抵抗 係数 ρ			周面抵抗 係数	低減係 数	せん断力 断	補正 N 値	液抵抗 比	せん断力 断比	利 定			
																							0	50	0
(m)	(m)	(m)			(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)			(kN/m ²)	Na	τ / $\sigma'v$	τ $\sigma'v$	FL					
0	0.0	0.50	砂質土				20.0	21.0									0.980	3.4	17.09	0.001	0.001	0.001			
	0.50	0.93				8.0	1.30		26.0	26.0	6.3	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	6.0	9.20	0.182	0.157	1.157				
	1.43	0.93				2.0	2.30		38.2	46.9	10.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	8.6	15.01	0.182	0.174	1.046				
	2.43	1.00				8.0	3.30		49.2	67.9	8.1	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	11.0	3.83	0.182	0.183	0.993				
	3.43	1.00				8.0	3.30		60.2	88.9	2.1	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	13.3	35.45	0.600	0.189	3.167				
	4.80	1.37				3.0	4.30		70.2	108.9	2.1	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	15.4	31.15	0.600	0.194	3.093				
	5.80	1.00				30.0	5.30		79.2	127.9	2.1	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	17.3	37.48	0.600	0.197	3.049				
	6.80	1.00				28.0	6.30		88.2	146.9	9.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	19.3	35.10	0.600	0.198	3.027				
	7.80	1.00				28.0	8.30		97.2	165.9	14.9	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	21.1	20.53	0.251	0.199	1.261				
	8.80	1.00				16.0	9.30		106.2	184.9	9.3	0.000	0.00	0.00	N値										
10	9.80	1.00	砂質土				18.0	19.0																	
	11.80	2.00					18.0	19.0																	
	13.80	2.00					18.0	19.0																	

地 点 名：SG-1
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 8.9 Dcy(建築指針)= 17.4 cm Dcy(高压ガス指針)= 8.3 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 18.9 cm

地点名		SG-1		P L 値		8.88		地下水位面		2.05 (m)	
				水の単位体積重量		10.0 (kN/m³)		(注) 判定外			
				上載荷重		0.0 (kN/m²)		**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)			
				使用曲線		γ = 5 (%)		**2 τ d / σ' v が 0.0 以下である(液状化の可能性は低い)			
				設計加速度		200.00 (gal)		**3 Fc ~ ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)			
				マグニチュード		7.5		**4 全上載圧または有効上載圧が 0.0 以下となる層である			
基準名		建築基礎構造設計指針									
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測 N 値									
Fc > 50% の取扱い		∠Nf = 11一定とする								液状化の程度 中	

地 点 名：SG-2
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 0.0 Dcy(建築指針)= 0.0 cm Dcy(高压ガス指針)= 1.2 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 0.0 cm

地点名		SG-2		P L 値		0.00		地下水位面		2.65 (m)												
				水の単位体積重量		10.0 (kN/m³)		(注) 判定外														
				上載荷重		0.0 (kN/m²)		**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)														
				使用曲線		γ = 5 (%)		**2 τ d / σ' v が 0.0 以下である(液状化の可能性は低い)														
				設計加速度		200.00 (gal)		**3 Fc ~ ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)														
				マグニチュード		7.5		**4 全上載圧または有効上載圧が 0.0 以下となる層である														
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測 N 値		地表変位(Dcy)		0.00 (cm)		液状化の程度		なし												
Fc > 50% の取扱い		∠Nf = 11一定とする																				
標 尺	土 質 特 性										応 変 力 出 比 法	液 を 状 考 化 慮 判 定	液状化の判定									
	層 厚	土 層 種 類	N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径			コ抵抗ン値費入	周抵抗面抗摩擦	低減係数	せ応ん力断	補正 N 値	液抵抗状化比	せ応ん力断比	判定		
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	σ' v	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)		(kN/m²)	Na	τ 1 / σ' v	τ d / σ' v	FL	0 1 2		
0	0.0																					
	0.50	0.50																				
	1.50	1.00	砂質土		5.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	4.1	0.000	0.00	0.00	N 値		0.980	3.4	9.71	**1	**1	**1
	2.65	1.15	砂質土		6.0	2.30	20.0	21.0	46.0	46.0	5.5	0.000	0.00	0.00	N 値		0.965	5.9	9.36	**1	**1	**1
	3.80	1.15	砂質土		9.0	3.30	20.0	21.0	60.1	66.6	5.1	0.000	0.00	0.00	N 値		0.951	8.4	11.61	0.141	0.140	1.009
	4.80	1.00	砂質土				20.0	21.0														
	5.80	1.00	砂質土		45.0	4.30	18.0	19.0	70.2	86.7	10.7	0.000	0.00	0.00	N 値		0.936	10.8	59.33	0.600	0.153	3.914
	6.80	1.00	砂質土		41.0	5.30	18.0	19.0	79.2	105.7	12.1	0.000	0.00	0.00	N 値		0.920	12.9	52.04	0.600	0.163	3.681
	7.80	1.00	砂質土		32.0	6.30	18.0	19.0	88.2	124.7	8.2	0.000	0.00	0.00	N 値		0.905	15.0	37.58	0.600	0.170	3.532
	8.80	1.00	砂質土		52.0	7.30	18.0	19.0	97.2	143.6	10.5	0.000	0.00	0.00	N 値		0.891	17.0	58.33	0.600	0.175	3.435
	9.80	1.00	砂質土		30.0	8.30	18.0	19.0	106.2	162.6	7.3	0.000	0.00	0.00	N 値		0.876	18.9	31.59	0.600	0.178	3.372
	10.80	1.00	砂質土		39.0	9.30	18.0	19.0	115.2	181.6	10.0	0.000	0.00	0.00	N 値		0.860	20.7	41.98	0.600	0.180	3.332
	11.28	1.48					18.0	19.0														
							18.0	19.0														

地 点 名：HG-S-1
タイプ1：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 4.1 Dcy(建築指針)= 4.4 cm Dcy(高压ガス指針)= 10.1 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 16.2 cm

地点名		HG-S-1		P L 値		4.13		地下水位面		0.91 (m)	
				水の単位体積重量		10.0 (kN/m ³)		(注) 判定外			
				上載荷重		0.0 (kN/m ²)		**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)			
				使用曲線		γ = 5 (%)		**2 τ d / σ' v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)			
基準値		建築基礎構造設計指針		設計加速度		200.00 (gal)		**3 Fc ~ ΔNf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)			
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測 N 値		マグニチュード		7.5		**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である			
Fc > 50% の取扱い		ΔNf = 11一定とする		地表変位(Dcy)		3.94 (cm)		液状化の程度		軽微	

標 尺	深 さ	層 厚	土 層 種 類	土 質 特 性												応力出 比法	液を状考 化判定	液状化の判定					
				N 値	判定 深さ	湿潤 重量	飽和 重量	有上 載圧	全上 載圧	細含 粒有 土率	平均 粒径	コ 抵抗 ン値 費入	周抵抗 面抗 摩 擦	低減 係数	せん断 力断			補正 N 値	液状 化比	せん断 力断比	判 定		
																						0	50
(m)	(m)	(m)																	0	1			

0	0.0																					
	0.91	0.91	砂質土		1.0	1.30	18.0	19.0	19.9	23.8	66.7	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	3.1	13.22	0.152	0.156	0.978
	1.90	0.99	砂質土		4.0	2.30	18.0	19.0	28.9	42.8	25.4	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	5.5	15.91	0.175	0.190	0.920
	2.80	0.90	砂質土		7.0	3.30	18.0	19.0	37.9	61.8	25.4	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	7.8	19.90	0.233	0.206	1.132
	3.80	1.00	砂質土		6.0	4.30	18.0	19.0	46.9	80.8	25.4	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	10.0	17.21	0.189	0.214	0.884
	4.80	1.00	砂質土		3.0	5.30	18.0	19.0	55.9	99.8	25.4	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	12.2	12.51	0.147	0.218	0.675
	5.80	1.00	砂質土				18.0	19.0							N値							
	6.80	1.00	砂質土		11.0	6.30	18.0	19.0	64.9	118.8	18.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	14.3	21.16	0.209	0.220	1.221
	7.80	1.00	砂質土		18.0	7.30	18.0	19.0	73.9	137.8	26.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	16.3	29.35	0.600	0.220	2.724
	8.80	1.00	砂質土		56.0	8.30	18.0	19.0	82.9	156.8	26.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	18.2	69.51	0.600	0.220	2.731
	9.80	1.00	砂質土		36.0	9.30	18.0	19.0	91.9	175.8	26.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	20.1	45.80	0.600	0.218	2.748
	10	10.90	1.20				18.0	19.0														
	11.90	1.00				18.0	19.0															
	12.90	1.00				16.0	17.0															



簡易法詳細結果 タイプ2

検討結果の詳細

- 手法：簡易法による液状化判定(タイプ2：M9.0 200gal)
- 基準：「建築基礎構造設計指針」(日本建築学会：2001年10月)

地点名：旭市役所
タイプ2：M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 2.2 Dcy(建築指針)= 2.0 cm Dcy(高压ガス指針)= 5.6 cm
Dcy(Dr-ε 関係)= 6.2 cm

地点名	地震計位置_旭市役所_中央汚水ポンプ場	P L 値	2.18	地下水位面	1.85 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水より土(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5\%$	**2 $\tau d / \sigma' v \geq 0.0$ 以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.0 (gal)	**3 $Fe \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
$Fe > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11 - \text{一定とする}$	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位 (Dcy)	1.92 (cm)	液状化の程度 軽微	

[illegible]

地点名：海上支所
タイプ2：M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 0.0	Dcy(建築指針)= 0.0 cm	Dcy(高压ガス指針)= 0.1 cm
		Dcy(Dr - ε 関係)= 0.0 cm

地点名	地震計位置_海上支所	P L値	0.00	地下水位面	0.00 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 τ_d / σ'_{v0} が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.0 (gal)	**3 $\tau_c < \angle NF$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle Nf = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	0.00 (cm)	液状化の程度	なし

[illegible]

地点名：飯岡支所
タイプ2：M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 0.0 Dcy(建築指針)= 0.0 cm Dcy(高压ガス指針)= 1.3 cm
Dcy(Dr - ε 関係)= 0.0 cm

地点名	地震計位置・飯岡支所	P 値	0.00	地下水位面	1.10 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注)	判定外
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1	地下水位より上(液状化の可能性は低い)
基準値	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5\%$	**2	$\pm d/\sigma'v \geq 0.0$ 以下である(液状化の可能性は低い)
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測 N 値	設計加速度	200.0 (gal)	**3	$F_c < \angle N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0	**4	全上載圧または有効上載圧が 0.0 以下となる層である
		地表変位 (Dcy)	0.00 (cm)		液状化の程度 なし

[illegible]

地点名：干潟支所
タイプ2：M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{ga}$

PL = 4.2 Dcy(建築指針)= 2.2 cm Dcy(高圧ガス指針)= 4.5 cm
Dcy(Dr - ε 関係)= 6.4 cm

地点名	地震計位置_干潟支所	P L 値	4. 17	地下水位面	0.00 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		土載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準値	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5\%$	**2 σ_d / σ'_v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.00 (ga)	**3 $F_c \sim \angle NF$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
$F_c > 5\%$ の取扱い	$\angle NF = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0	**4 全土載圧または有効土載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	2.14 (cm)	液状化の程度	軽微

[illegible]

地 点 名：旭中央病院
タイプ2：M9.0， $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 5.0 Dcy(建築指針)= 2.0 cm Dcy(高圧ガス指針)= 5.1 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 9.3 cm

地点名	被害家屋密集域_旭_内陸側_中央病院B-1	PL値	4.99	地下水位面	0.00 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	$\gamma = 5$ (%)		**2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
Fe>50%の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	1.86 (cm)	液状化の程度 軽微	

標尺	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応算力出比法	液を状考慮判定	せん断振幅		液状化の判定				
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧 $\sigma'v$	全上載圧	細含粒有土率	平均粒徑	コ抵抗値 貫入	周面抗摩係			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗比	せん断力断比	判 定	
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)				(kN/m ²)	Na	$\tau l/\sigma'v$	$\tau d/\sigma'v$	FL	0 1 2
0	0.0																					
	1.35	1.35	砂質土		3.0	1.30	20.0	21.0	14.3	27.3	30.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	4.4	16.85	0.185	0.306	0.604	
	2.35	1.00	砂質土		14.0	2.30	18.0	19.0	23.4	46.4	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	7.3	29.25	0.600	0.313	1.920	
	3.35	1.00	砂質土		28.0	3.30	18.0	19.0	32.4	65.4	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	10.1	49.30	0.600	0.313	1.915	
	4.35	1.00	砂質土		25.0	4.30	18.0	19.0	41.4	84.4	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	12.9	39.06	0.600	0.311	1.927	
	5.35	1.00	砂質土		27.0	5.30	18.0	19.0	50.4	103.4	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	15.5	38.25	0.600	0.308	1.946	
	6.35	1.00	砂質土		28.0	6.30	18.0	19.0	59.4	122.4	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	18.1	36.56	0.600	0.305	1.970	
	7.35	1.00	砂質土		29.0	7.30	18.0	19.0	68.4	141.4	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	20.6	35.31	0.600	0.301	1.996	
	8.35	1.00	砂質土		26.0	8.30	18.0	19.0	77.4	160.4	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	22.9	29.86	0.600	0.296	2.026	
	9.35	1.00	砂質土		20.0	9.30	18.0	19.0	86.4	179.4	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	25.2	21.90	0.294	0.292	1.006	
10	11.35	2.00					18.0	19.0														

地 点 名：日の出保育所
タイプ2：M9.0， $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 14.6 Dcy(建築指針)= 22.6 cm Dcy(高圧ガス指針)= 8.8 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 19.6 cm

地点名	被害家屋密集域_旭_砂鉄鉱区	PL値	14.64	地下水位面	1.50 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	$\gamma = 5$ (%)		**2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
Fe>50%の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	22.40 (cm)	液状化の程度 大	

標尺	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応 答 力 出 法	液 を 状 考 慮 判 定	せん断振幅		液状化の判定				
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧 $\sigma'v$	全上載圧	細含粒有土率	平均粒徑	コ抵抗値 貫入	周面抗摩係			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗比	せん断力断比	判 定	
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)			(kN/m ²)	Na	$\tau l/\sigma'v$	$\tau d/\sigma'v$	FL	0 1 2	
0	0.0																					
	1.35	1.35	砂質土		7.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	30.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	4.2	22.59	**1	**1	**1	
	2.35	1.00	砂質土		3.0	2.30	20.0	21.0	38.8	46.8	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	7.4	4.77	0.090	0.190	0.471	
	3.35	1.00	砂質土		2.0	3.30	20.0	21.0	49.8	67.8	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	10.5	2.81	0.089	0.211	0.325	
	4.35	1.00	砂質土		3.0	4.30	20.0	21.0	60.8	88.8	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	13.6	3.81	0.080	0.223	0.359	
	5.35	1.00	砂質土		26.0	5.30	18.0	19.0	69.9	107.9	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	16.2	31.99	0.600	0.232	2.586	
	6.35	1.00	砂質土		32.0	6.30	18.0	19.0	78.9	126.9	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	18.8	36.86	0.600	0.238	2.523	
	7.35	1.00	砂質土		27.0	7.30	18.0	19.0	87.9	145.9	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	21.2	29.71	0.600	0.241	2.486	
	8.35	1.00	砂質土		44.0	8.30	18.0	19.0	96.9	164.9	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	23.6	45.45	0.600	0.243	2.467	
10	9.35	1.00	砂質土		50.0	9.30	18.0	19.0	105.9	183.9	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	25.8	49.30	0.600	0.244	2.459	
	11.35	2.00					18.0	19.0														
	13.35	2.00					18.0	19.0														

地 点 名：飯岡体育館
タイプ2：M9.0， $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 16.8 Dcy(建築指針)= 19.4 cm Dcy(高圧ガス指針)= 17.4 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 37.1 cm

地点名	飯岡体育館	PL値	16.78	地下水位面	1.72 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	$\gamma = 5$ (%)		**2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
Fe>50%の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	17.33 (cm)	液状化の程度 中	

標尺	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応力出比法	液を考慮判定	せん断振幅		液状化の判定						
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧 $\sigma'v$	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗値 貫入	周面抗摩係			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗比	せん断力断比	判定			
(m)	(m)	(m)		0	50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(kN/m ²)	Na	$\tau l/\sigma'v$	$\tau d/\sigma'v$	FL	0	1	2	
0	0.0																							
	0.72	0.72	砂質土			8.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	4.7	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	4.2	15.53	**1	**1	**1		
	1.72	1.00	砂質土			5.0	2.30	20.0	21.0	40.8	46.6	4.7	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	7.3	7.75	0.114	0.180	0.635		
	2.72	1.00	砂質土			6.0	3.30	20.0	21.0	51.8	67.6	2.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	10.5	8.25	0.118	0.203	0.583		
	3.72	1.00	砂質土			7.0	4.30	20.0	21.0	62.8	88.6	3.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	13.5	8.75	0.122	0.216	0.564		
	4.72	1.00	砂質土			8.0	5.30	20.0	21.0	73.8	109.6	3.6	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	16.5	9.22	0.125	0.223	0.559		
	5.72	1.00	砂質土			15.0	6.30	20.0	21.0	84.8	130.6	9.9	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	19.3	22.01	0.208	0.228	1.397		
	6.72	1.00	砂質土			9.0	7.30	20.0	21.0	95.8	151.6	4.7	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	22.0	9.10	0.124	0.230	0.539		
	7.75	1.03	砂質土			21.0	8.30	20.0	21.0	105.7	171.5	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	24.5	20.22	0.243	0.232	1.046		
	8.75	1.00	砂質土			16.0	9.30	18.0	19.0	114.7	190.3	8.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	26.8	18.99	0.216	0.233	0.927		
10	9.75	1.00						18.0	19.0															
	11.45	1.70						18.0	19.0															
	13.45	2.00						18.0	19.0															

地 点 名：HB-S-1
タイプ2：M9.0， $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 6.1 Dcy(建築指針)= 14.8 cm Dcy(高圧ガス指針)= 10.0 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 25.3 cm

地点名	HB-S-1	PL値	6.08	地下水位面	1.60 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	$\gamma = 5$ (%)		**2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
Fe>50%の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	13.03 (cm)	液状化の程度 中	

標尺	深さ	土 質 特 性												応 算 方 法	液 化 考 慮 判 定	せん断振幅		液状化の判定				
		層 厚	土 層 種 別	N 値	判定 深 さ	湿 潤 重 量	飽 和 重 量	有 上 載 効 果 $\sigma'v$	全 上 載 圧	細 含 粒 有 土 率	平 均 粒 径	コ 抵抗 値 貫 入	周 面 抗 摩 係			低 減 係 数	せん 断 力 断	補 正 N 値	液 状 化 比	せん 断 力 断 比	判 定	
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(kN/m ²)	N ₆₀	$\tau l/\sigma'v$	$\tau d/\sigma'v$	FL	0 1		
0	0.0																					
	0.80	0.80	砂質土		6.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	0.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	4.2	11.65	**1	**1	**1	
	1.60	0.80	砂質土		5.0	2.30	20.0	21.0	39.7	46.7	0.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	7.4	9.43	0.182	0.185	0.982	
	2.70	1.10	砂質土		6.0	3.30	20.0	21.0	50.7	67.7	0.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	10.5	8.34	0.182	0.207	0.878	
	3.90	1.20	砂質土		7.0	4.30	20.0	21.0	61.7	88.7	7.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.906	13.5	11.82	0.182	0.220	0.829	
	4.90	1.00	砂質土		6.0	5.30	20.0	21.0	72.7	109.7	5.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	16.5	7.45	0.112	0.227	0.494	
	5.80	0.90	砂質土		22.0	6.30	18.0	19.0	82.7	129.7	10.7	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	19.2	30.69	0.600	0.232	2.588	
	6.90	1.10	砂質土		25.0	7.30	18.0	19.0	91.7	148.7	1.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	21.6	25.84	0.532	0.236	2.258	
	7.90	1.00	砂質土		33.0	8.30	18.0	19.0	100.7	167.7	0.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	24.0	32.55	0.600	0.238	2.521	
	8.90	1.00	砂質土		20.0	9.30	18.0	19.0	109.7	186.7	9.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.880	26.2	24.18	0.405	0.229	1.694	
10	10.00	1.10				18.0	19.0															
	11.10	1.10				18.0	19.0															
	12.90	1.80				18.0	19.0															

地点名：HB-1

タイプ2 : M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 19.6 Dcy(建築指針)= 31.2 cm Dcy(高圧ガス指針)= 12.2 cm

Dcy(Dr-ε 關係)= 26.8 cm

地点名：HB-2

タイプ2 : M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 17.4 Dcy(建築指針)= 25.1 cm Dcy(高圧ガス指針)= 17.0 cm

$$D_{cy}(Dr - \varepsilon \text{ 関係}) = 35.5 \text{ cm}$$

地点名	HB-1	P 値	19.63	地下水位面	1.90 (m)
		水の単位体積重量	10.0	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5\%$	**2 $\tau_d / \sigma'_{v0} > 0.0$ 以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.00 (gal)	**3 $F_c < \angle NF$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle NF = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	27.20 (cm)	液状化の程度	大

[illegible]

地点名	HB-2	P L 値	20.47	地下水位面	2.03 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5\%$	**2 $\sigma' / \sigma' \gamma$ が 0.0 以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測 N 値	設計加速度	200.00 (gal)	**3 Fc ~ L 範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測 N 値	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が 0.0 以下となる層である	
Fc > 50% の取扱	N 値 = 11 一定とする	地表変位 (Dcy)	31.48 (cm)	液状化の程度 大	

[illegible]

地点名：HB-3

タイプ2 : M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 16.6 Dcy(建築指針)= 27.0 cm Dcy(高圧ガス指針)= 11.3 cm

$$D_{cy}(Dr - \varepsilon \text{ 関係}) = 25.3 \text{ cm}$$

地点名：UK-1

タイプ2 : M9.0, $\alpha_{\max} = 200\text{gal}$

PL = 7.1 Dcy(建築指針)= 6.1 cm Dcy(高圧ガス指針)= 6.7 cm

$$D_{cy}(Dr - \varepsilon \text{ 関係}) = 13.6 \text{ cm}$$

地点名	HB-3	P L値	16.55	地下水位面	1.67 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注)	判定外
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)		**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5\%$		**2 $\tau_d / \sigma'_{v0} \geq 0.0$ 以下である(液状化の可能性は低い)
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.0 (gal)		**3 $Fe \leq NF$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
$F_c > 50\%$ の取扱い	$N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0		**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である
		地表変位 (Dcy)	26.38 (cm)		液状化の程度 大

[illegible]

地点名	UK-1	P L値	7.06	地下水位面	0.97 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5\%$	**2 τ_d / σ'_{v0} が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.0 (gal)	**3 $F_c \leq \angle$ Nフープ範囲外(液状化の可能性は低い)	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マニフェスチード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	5.91 (cm)	液状化の程度 小	

[illegible]

地 点 名：HA-1	PL = 10.5 Dcy(建築指針)= 14.8 cm Dcy(高压ガス指針)= 6.9 cm	地 点 名：HA-2	PL = 8.2 Dcy(建築指針)= 10.8 cm Dcy(高压ガス指針)= 5.9 cm
タイプ 2：M9.0, α _{max} = 200gal	Dcy(Dr- ε 関係)= 17.1 cm	タイプ 2：M9.0, α _{max} = 200gal	Dcy(Dr- ε 関係)= 13.3 cm

地点名	HA-1	P L 値	10.53	地下水位面	2.30 (m)	P L 値	8.22	地下水位面	2.50 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	(注) 判定外		水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)		上載荷重	0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d/σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)		使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d/σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	設計加速度	200.00 (gal)	**3 Fc〜∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)		設計加速度	200.00 (gal)	**3 Fc〜∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である		マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
Fc>50%の取扱い	∠Nf=11一定とする	地表変位(Dcy)	13.56 (cm)	液状化の程度 中		地表変位(Dcy)	10.49 (cm)	液状化の程度 中	

標尺	土 質 特 性														応算力出法	液を状考慮判定	せん断振幅					液状化の判定				
	深さ	層厚	土層種類	N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧 σ' v	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗ン値貫入	周抵抗摩擦	低減係数			せん断力断	補正 N 値	液抵抗比	せん断力断比	判定					
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	(kN/m²)	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)		(kN/m²)	Na	τ 1/σ' v	τ d/σ' v	FL	0 1 2						
0	0.0																									
	0.70	0.70	砂質土		8.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	2.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	4.2	15.53	**1	**1	**1					
	1.50	0.80	砂質土		9.0	2.30	20.0	21.0	46.0	46.0	3.2	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	7.3	13.14	0.152	0.158	0.962					
	2.30	0.80	砂質土		5.0	3.30	20.0	21.0	57.0	67.0	2.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	10.4	6.56	0.105	0.182	0.576					
	3.50	1.20	砂質土		1.0	4.30	20.0	21.0	68.0	88.0	4.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	13.4	1.20	0.045	0.198	0.227					
	4.80	1.30	砂質土		35.0	5.30	20.0	21.0	78.0	108.0	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	16.2	39.23	0.600	0.208	2.883					
	5.80	1.00	砂質土		40.0	6.30	18.0	19.0	87.0	127.0	3.6	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	18.8	42.45	0.600	0.216	2.780					
	6.80	1.00	砂質土		46.0	7.30	18.0	19.0	96.0	146.0	6.3	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	21.2	48.04	0.600	0.221	2.714					
	7.80	1.00	砂質土		46.0	8.30	18.0	19.0	105.0	165.0	7.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	23.6	47.32	0.600	0.225	2.671					
	8.80	1.00	砂質土		28.0	9.30	18.0	19.0	114.0	184.0	6.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	25.9	27.76	0.600	0.227	2.646					
	9.80	1.00	砂質土				18.0	19.0																		

地点名	HA-2	P L 値	8.22	地下水位面	2.50 (m)	基準名	建築基礎構造設計指針	判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	Fc>50%の取扱い	∠Nf=11一定とする	土 質 特 性														応算力出法	液を状考慮判定	せん断振幅					液状化の判定				
												深さ	層厚	土層種類	N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧 σ' v	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗ン値貫入	周抵抗摩擦	低減係数			せん断力断	補正 N 値	液抵抗比	せん断力断比	判定					
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	(kN/m²)	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)		(kN/m²)	Na	τ 1/σ' v	τ d/σ' v	FL	0 1 2																	
0	0.0																																				
	0.95	0.95	砂質土		5.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	6.6	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	4.2	11.63	**1	**1	**1																
	1.95	1.00	砂質土		6.0	2.30	20.0	21.0	46.0	46.0	3.9	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	7.3	8.76	**1	**1	**1																
	2.95	1.00	砂質土		7.0	3.30	20.0	21.0	58.8	66.8	3.2	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	10.4	9.04	0.124	0.176	0.701																
	3.95	1.00	砂質土		1.0	4.30	20.0	21.0	69.8	87.8	4.8	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	13.4	1.18	0.045	0.192	0.235																
	4.90	0.90	砂質土		34.0	5.30	20.0	21.0	80.0	108.0	10.6	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	16.2	43.75	0.600	0.203	2.957																
	5.90	1.00	砂質土		37.0	6.30	18.0	19.0	89.0	127.0	7.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	18.8	41.23	0.600	0.211	2.844																
	6.90	1.00	砂質土		45.0	7.30	18.0	19.0	98.0	146.0	11.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	21.2	51.30	0.600	0.217	2.770																
	7.90	1.00	砂質土		47.0	8.30	18.0	19.0	107.0	165.0	14.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	23.6	51.78	0.600	0.220	2.722																
	8.90	1.00	砂質土		39.0	9.30	18.0	19.0	116.0	184.0	8.1	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	25.9	39.57	0.600	0.223	2.692																
	9.90	1.00					18.0	19.0																													
	10.90	1.00					18.0	19.0																													
	12.90	2.00					18.0	19.0																													

地 点 名：NK-1	PL = 1.5 Dcy(建築指針)= 1.8 cm Dcy(高压ガス指針)= 3.1 cm	地 点 名：JG-S-1	PL = 3.2 Dcy(建築指針)= 7.0 cm Dcy(高压ガス指針)= 4.7 cm
タイプ 2：M9.0, α _{max} = 200gal	Dcy(Dr- ε 関係)= 6.9 cm	タイプ 2：M9.0, α _{max} = 200gal	Dcy(Dr- ε 関係)= 3.2 cm

地点名	NK-1	P L 値	1.50	地下水位面	1.20 (m)	地点名	JG-S-1	P L 値	3.18	地下水位面	1.70 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	(注) 判定外				水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)				上載荷重	0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d/σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)				使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d/σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	設計加速度	200.00 (gal)	**3 Fc<∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)		基準名	建築基礎構造設計指針	設計加速度	200.00 (gal)	**3 Fc<∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である		判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
Fc>50%の取扱い	∠Nf=11一定とする	地表変位(Dcy)	0.18 (cm)	液状化の程度 軽微		Fc>50%の取扱い	∠Nf=11一定とする	地表変位(Dcy)	6.95 (cm)	液状化の程度 小	

標尺	深さ	層厚	土層種類	N 値	土 質 特 性										応算力出法	液を状考慮判定	せん断振幅	液状化の判定					判定
					判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧σ'v	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗ン値貫入	周抵抗摩擦	低減係数				せん断力断	補正N値	液抵抗化比	せん断力断比	FL	
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	(kN/m²)	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)			(kN/m²)	Na	τ 1/σ' v	τ d/σ' v	FL	0	1	2
0	0.0																						
	1.20	1.20	砂質土		1.0	1.30	20.0	21.0	24.9	25.9	34.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	4.1	11.42	0.140	0.167	0.839		
	2.20	1.00	砂質土		15.0	2.30	18.0	19.0	33.9	44.9	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	7.1	25.50	0.502	0.209	2.405		
	3.20	1.00	砂質土		34.0	3.30	18.0	19.0	42.9	63.9	5.8	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	9.9	52.35	0.600	0.231	2.596		
	4.20	1.00	砂質土		43.0	4.30	18.0	19.0	51.9	82.9	4.3	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	12.7	59.09	0.600	0.244	2.459		
	5.20	1.00	砂質土		35.0	5.30	18.0	19.0	60.9	101.9	4.2	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	15.3	44.40	0.600	0.251	2.386		
	6.20	1.00	砂質土		22.0	6.30	18.0	19.0	69.9	120.9	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	17.9	26.05	0.552	0.256	2.157		
	7.20	1.00	砂質土		22.0	7.30	18.0	19.0	78.9	139.9	3.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	20.3	24.52	0.427	0.258	1.657		
	8.20	1.00	砂質土		41.0	8.30	18.0	19.0	87.9	158.9	6.5	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	22.7	45.09	0.600	0.258	2.322		
	9.20	1.00	砂質土		31.0	9.30	18.0	19.0	96.9	177.9	6.9	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	25.0	33.46	0.600	0.258	2.326		
10	10.20	1.00					18.0	19.0															

標尺	深さ	層厚	土層種類	N 値	土 質 特 性										応算力出法	液を状考慮判定	せん断振幅	液状化の判定					判定	
					判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧σ'v	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗ン値貫入	周抵抗摩擦	低減係数				せん断力断	補正N値	液抵抗化比	せん断力断比	FL		0
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	(kN/m²)	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)			(kN/m²)	Na	τ 1/σ' v	τ d/σ' v	FL	0	1	2	
0	0.0																							
	0.90	0.90	砂質土									8.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	2.2	0.000	0.00	0.00	N値		
	1.70	0.80	砂質土									7.0	2.30	20.0	21.0	39.4	45.4	2.4	0.000	0.00	0.00	N値		
	2.70	1.00	砂質土									17.0	3.30	18.0	19.0	48.4	64.4	2.8	0.000	0.00	0.00	N値		
	3.80	1.10	砂質土									21.0	4.30	18.0	19.0	57.4	83.4	3.0	0.000	0.00	0.00	N値		
	4.80	1.00	砂質土									25.0	5.30	18.0	19.0	66.4	102.4	2.3	0.000	0.00	0.00	N値		
	5.80	1.00	砂質土									19.0	6.30	18.0	19.0	75.4	121.4	2.3	0.000	0.00	0.00	N値		
	6.70	0.90	砂質土									26.0	7.30	18.0	19.0	84.4	140.4	2.3	0.000	0.00	0.00	N値		
	7.60	0.90	砂質土									22.0	8.30	18.0	19.0	93.4	159.4	6.6	0.000	0.00	0.00	N値		
	8.50	0.90	砂質土									4.0	9.30	18.0	19.0	102.4	178.4	6.6	0.000	0.00	0.00	N値		
10	11.50	2.00																						

地 点 名：SG-1
タイプ2：M9.0， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 11.5 Dcy(建築指針)= 18.1 cm Dcy(高圧ガス指針)= 8.5 cm
Dcy(Dr- ϵ 関係)= 18.9 cm

地点名	SG-1	PL値	11.51	地下水位面	2.05 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	γ = 5 (%)	**2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	16.98 (cm)	液状化の程度 中	

標 尺	深 さ (m)	層 厚 (m)	土 層 種 類	土 質 特 性										応 算 力 出 比 法	液 を 状 化 考 慮 判 定	せん断振幅			液状化の判定				
				N 値 0 50	判定 深さ (m)	湿潤 重量 (kN/m ³)	飽和 重量 (kN/m ³)	有上 載効 圧 σ'v (kN/m ²)	全上 載圧 (kN/m ²)	細含 粒有 土率 (%)	平均 粒径 D50	コ抵抗 ン値 貫入 (kN/m ²)	周抵抗 面摩 擦 (kN/m ²)			低減 係数	せん断 力断 (kN/m ²)	補正 N値	液抵抗 化比	せん断 力断比	判定	FL	0 1 2
0	0.0																						
	0.60	0.60	砂質土			20.0	21.0		26.0	26.0	3.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	4.2	19.41	**1	**1	**1	
	1.30	0.70				20.0	21.0		26.0	26.0	3.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	7.3	7.48	0.112	0.167	0.674	
	2.05	0.75				20.0	21.0		43.8	46.3	2.7	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	7.3	7.48	0.112	0.167	0.674	
	2.95	0.90	砂質土			20.0	21.0		54.8	67.3	4.8	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	10.4	2.68	0.067	0.191	0.352	
	3.85	0.90				20.0	21.0		65.8	88.3	7.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	13.5	5.20	0.094	0.205	0.457	
	4.80	0.95		砂質土			20.0	21.0		75.8	108.3	3.6	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	16.3	29.57	0.600	0.215	2.794
	5.75	0.95				20.0	21.0		84.8	127.3	7.6	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	18.8	36.46	0.600	0.222	2.703	
	6.75	1.00	砂質土				18.0	19.0		93.8	146.2	2.5	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	21.3	26.58	0.600	0.227	2.645
	7.75	1.00				18.0	19.0		102.8	165.2	6.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	23.6	25.62	0.512	0.230	2.226	
8.75	1.00	砂質土				18.0	19.0		111.8	184.2	5.6	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	25.9	26.00	0.547	0.232	2.362	
9.75	1.00				18.0	19.0																	
10.75	1.00				18.0	19.0																	

地 点 名：SG-2
タイプ2：M9.0， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 1.7 Dcy(建築指針)= 2.1 cm Dcy(高圧ガス指針)= 3.1 cm
Dcy(Dr- ϵ 関係)= 7.8 cm

地点名	SG-2	PL値	1.72	地下水位面	2.65 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	γ = 5 (%)	**2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	1.16 (cm)	液状化の程度 軽微	

標 尺	深 さ	層 厚	土 層 種 類	N 値	判定 深さ	土 質 特 性										応 算 力 出 比 法	液 を 状 化 考 慮 判 定	せん断振幅			液状化の判定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
						湿 潤 重 量	飽 和 重 量	有上 載 効 圧 σ'v	全上 載 圧	細含 粒有 土率	平 均 粒 径	コ 抵抗 ン値 貫 入	周 抵抗 面 摩 擦	低 減 係 数	せん 断 力 断			補正 N 値	液 抵抗 化 比	せん 断 力 断 比	判 定	F L	0	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
(m)	(m)	(m)		050	(m)	(kN/m ²)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)			(kN/m ²)	Na	τ l / σ'v	τ d / σ'v																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																</

地 点 名：HG-S-1
タイプ2：M9.0， $\alpha_{\max}$ = 200gal

PL = 10.2 Dcy(建築指針)= 7.6 cm Dcy(高圧ガス指針)= 15.1 cm
Dcy(Dr- ϵ 関係)= 22.5 cm

地点名	HG-S-1	PL値	10.16	地下水位面	0.91 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	γ = 5 (%)	**2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	200.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	6.62 (cm)	液状化の程度 小	

標 尺	深 さ	土 質 特 性												応 力 出 比 法	液 を 考 慮 判 定	せん断振幅		液状化の判定					
		層 厚	土 層 種 類	N 値 0 50	判 定 深 さ	湿 潤 重 量	飽 和 重 量	有上 載 効 圧	全上 載 圧	細含 粒有 土率	平 均 粒 径	コ 抵抗 ン値 貫 入	周 抵抗 面 摩 擦			低 減 係 数	せん 力 断	補正 N 値	液 状 化 比	せん 力 断 比	判 定	FL	0 1 2
		(m)			(m)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)			(kN/m ²)	Na	$\tau l/\sigma'v$	$\tau d/\sigma'v$				
0	0.0																						
	0.91	0.91	砂質土		1.0	1.30	18.0	19.0	19.9	23.8	66.7	0.050	0.00	0.00	N値		0.980	3.8	13.22	0.132	0.191	0.795	
	1.90	0.99	砂質土		4.0	2.30	18.0	19.0	28.9	42.8	25.4	0.050	0.00	0.00	N値		0.965	6.7	15.91	0.175	0.233	0.747	
	2.80	0.90	砂質土		7.0	3.30	18.0	19.0	37.9	61.8	25.4	0.050	0.00	0.00	N値		0.951	9.6	19.80	0.233	0.253	0.920	
	3.80	1.00	砂質土		6.0	4.30	18.0	19.0	46.9	80.8	25.4	0.050	0.00	0.00	N値		0.926	12.3	17.21	0.189	0.263	0.719	
	4.80	1.00	砂質土		3.0	5.30	18.0	19.0	55.9	99.8	25.4	0.050	0.00	0.00	N値		0.920	15.0	12.51	0.147	0.208	0.549	
	5.80	1.00	砂質土		11.0	6.30	18.0	19.0	64.9	118.8	18.2	0.050	0.00	0.00	N値		0.905	17.6	21.16	0.209	0.271	0.992	
	6.80	1.00	砂質土		18.0	7.30	18.0	19.0	73.9	137.8	28.2	0.050	0.00	0.00	N値		0.891	20.0	29.35	0.600	0.271	2.213	
	7.80	1.00	砂質土		36.0	8.30	18.0	19.0	82.9	156.8	38.2	0.050	0.00	0.00	N値		0.876	22.4	69.51	0.600	0.270	2.219	
	8.80	1.00	砂質土		36.0	9.30	18.0	19.0	91.9	175.8	38.2	0.050	0.00	0.00	N値		0.860	24.7	45.80	0.600	0.269	2.232	
10	10.00	1.20				18.0	19.0																
	11.00	1.00				18.0	19.0																
	12.00	1.00				16.0	17.0																

簡易法詳細結果 タイプ3

検討結果の詳細

- 手法：簡易法による液状化判定(タイプ3：M7.5 350gal)
- 基準：「建築基礎構造設計指針」（日本建築学会：2001年10月）

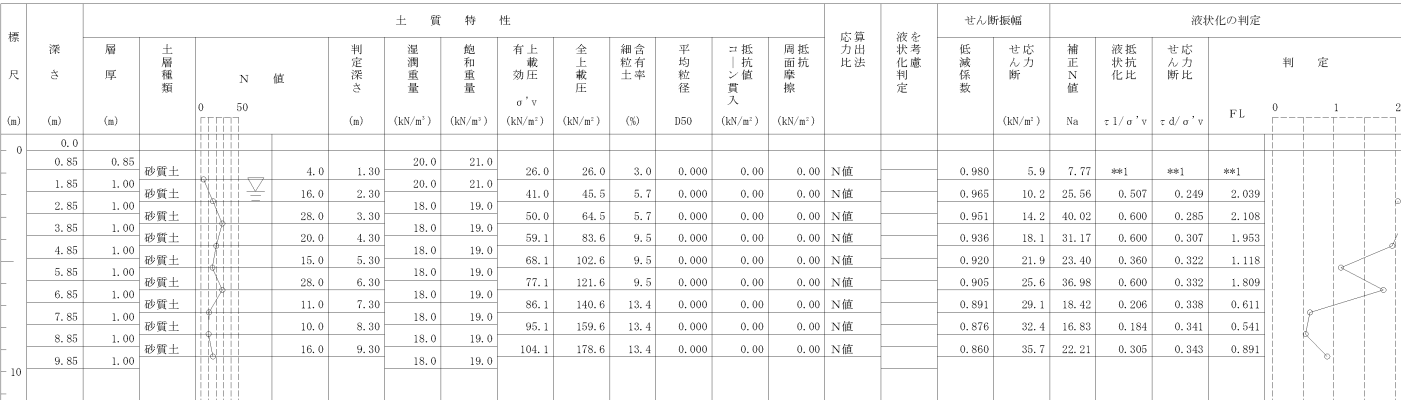
地 点 名：旭市役所

タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 350gal

PL = 5.7 Dcy(建築指針)= 3.5 cm Dcy(高压ガス指針)= 8.1 cm

Dcy(Dr- ε 関係)= 9.2 cm

地点名	地震計位置_旭市役所_中央汚水ポンプ場	P L 値	5.74	地下水位面	1.85 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	設計加速度	350.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	地表変位(Dcy)	3.41 (cm)	液状化の程度 軽微	



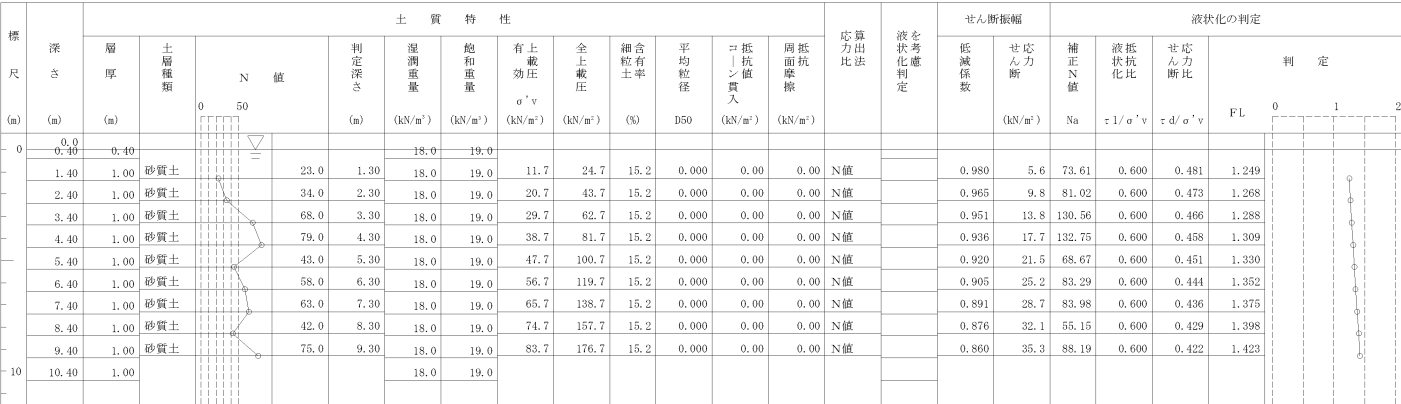
地 点 名：海上支所

タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 350gal

PL = 0.0 Dcy(建築指針)= 0.0 cm Dcy(高压ガス指針)= 2.3 cm

Dcy(Dr- ε 関係)= 0.0 cm

地点名	地震計位置_海上支所	P L 値	0.00	地下水位面	0.00 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	設計加速度	350.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	地表変位(Dcy)	0.00 (cm)	液状化の程度 なし	



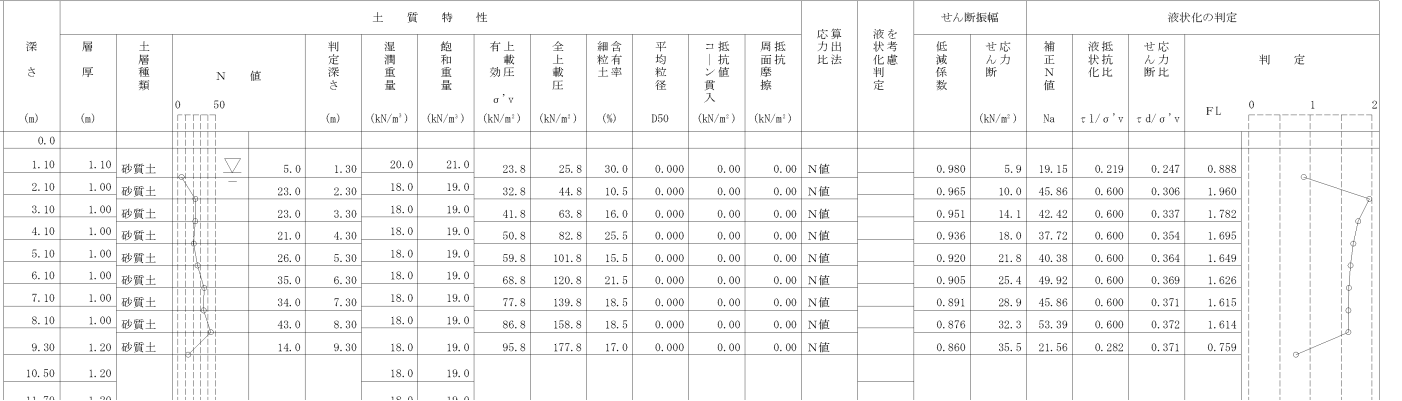
地 点 名：飯岡支所

タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 350gal

PL = 2.6 Dcy(建築指針)= 1.7 cm Dcy(高压ガス指針)= 6.4 cm

Dcy(Dr- ε 関係)= 10.5 cm

地点名	地震計位置_飯岡支所	P L 値	2.58	地下水位面	1.10 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	設計加速度	350.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	地表変位(Dcy)	0.95 (cm)	液状化の程度 軽微	



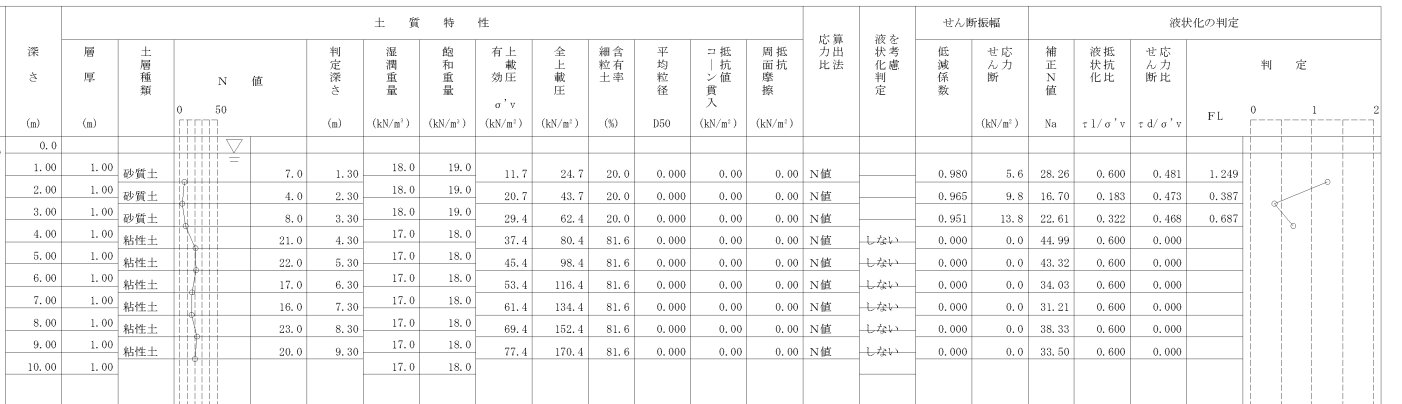
地 点 名：干潟支所

タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 350gal

PL = 8.0 Dcy(建築指針)= 2.5 cm Dcy(高压ガス指針)= 6.4 cm

Dcy(Dr- ε 関係)= 6.4 cm

地点名	地震計位置_干潟支所	P L 値	8.03	地下水位面	0.00 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	設計加速度	350.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	地表変位(Dcy)	2.43 (cm)	液状化の程度 軽微	



地 点 名：HB-1
タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max} = 350\text{gal}$

PL = 23.2 Dcy(建築指針)= 31.2 cm Dcy(高压ガス指針)= 12.8 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 26.8 cm

地点名	HB-1	P L 値	23.20	地下水位面	1.90 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	設計加速度	350.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	地表変位(Dcy)	27.20 (cm)	液状化の程度	大

標尺	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応 算 力 出 比 法	液 を 状 考 慮 判 定	せん断振幅					液状化の判定					判 定
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗値貫入	周抵抗摩擦			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗化比	せん断力断比	判 定					
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)				(kN/m ²)	Na	$\tau 1 / \sigma' v$	$\tau d / \sigma' v$	F L					
0	0.0																				0	1	2			
	0.90	0.90	砂質土		3.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	5.1	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	5.9	5.94	**1	**1	**1				
	1.90	1.00	砂質土		2.0	2.30	20.0	21.0	42.4	46.4	3.6	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	10.4	3.04	0.072	0.245	0.292				
	2.90	1.00	砂質土		3.0	3.30	20.0	21.0	53.4	67.4	4.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	14.9	4.06	0.083	0.279	0.297				
	3.90	1.00	砂質土		3.0	4.30	20.0	21.0	64.4	88.4	1.8	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	19.2	3.70	0.079	0.298	0.265				
	4.90	1.00	砂質土		2.0	5.30	20.0	21.0	75.4	109.4	4.6	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	23.4	2.28	0.062	0.310	0.200				
	5.80	0.90	砂質土		22.0	6.30	20.0	21.0	85.4	129.4	4.7	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	27.2	23.57	0.369	0.319	1.158				
	6.80	1.00	砂質土		34.0	7.30	18.0	19.0	94.4	148.4	8.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	30.7	38.24	0.600	0.325	1.846				
	7.81	1.01	砂質土		26.0	8.30	18.0	19.0	103.4	167.4	4.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	34.0	25.31	0.486	0.329	1.478				
	8.81	1.00	砂質土		32.0	9.30	18.0	19.0	112.4	186.4	6.4	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	37.2	31.56	0.600	0.331	1.811				
	9.81	1.00					18.0	19.0																		
	10.81	1.00					18.0	19.0																		
	11.90	1.09					18.0	19.0																		

地 点 名：HB-3
タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max} = 350\text{gal}$

PL = 20.5 Dcy(建築指針)= 27.3 cm Dcy(高压ガス指針)= 11.7 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 25.3 cm

地点名		HB-3		P L 値		20.47		地下水位面		1.67 (m)	
				水の単位体積重量		10.0 (kN/m³)		(注) 判定外			
				上載荷重		0.0 (kN/m²)				**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
				使用曲線		γ = 5 (%)				**2 τ d / σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名		建築基礎構造設計指針		設計加速度		350.00 (gal)				**3 Fc ~ ∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測N値		マグニチュード		7.5				**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
Fc > 50%の取扱い		∠Nf = 11一定とする		地表変位(Dcy)		26.66 (cm)				液状化の程度 大	

標尺	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応量力出比法	液を状考慮判定	せん断振幅					液状化の判定					判定			
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗値貫入	周抵抗摩擦			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗化比	せん断力断比	判 定								
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	σ' v (kN/m²)	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)			(kN/m²)	Na	τ 1 / σ' v	τ d / σ' v	F L									
0	0.0																												
	0.60	0.60	砂質土		3.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	6.7	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	5.9	7.86	**1	**1	**1							
	1.67	1.07	砂質土		3.0	2.30	20.0	21.0	40.3	46.6	4.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	10.5	4.68	0.089	0.259	0.342							
	2.80	0.70	砂質土		5.0	3.30	20.0	21.0	51.3	67.6	2.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	14.9	6.91	0.108	0.291	0.371							
	3.80	1.00	砂質土		3.0	4.30	20.0	21.0	62.3	88.6	2.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	19.2	3.76	0.080	0.309	0.258							
	4.80	1.00	砂質土		4.0	5.30	20.0	21.0	73.3	109.6	3.6	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	23.4	4.62	0.088	0.319	0.276							
	5.80	1.00	砂質土		23.0	6.30	20.0	21.0	83.3	129.6	2.1	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	27.2	24.94	0.457	0.327	1.399							
	6.80	1.00	砂質土		65.0	7.30	18.0	19.0	92.3	148.6	4.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	30.7	66.97	0.600	0.333	1.803							
	7.80	1.00	砂質土		54.0	8.30	18.0	19.0	101.3	167.6	3.8	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	34.1	53.11	0.600	0.336	1.785							
10	8.80	1.00	砂質土		27.0	9.30	18.0	19.0	110.3	186.6	6.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	37.3	26.89	0.600	0.338	1.776							
	9.80	1.00	砂質土				18.0	19.0																					

地 点 名：HB-2
タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max} = 350\text{gal}$

PL = 28.4 Dcy(建築指針)= 34.7 cm Dcy(高压ガス指針)= 19.4 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 38.5 cm

地点名	HB-2	P L 値	28.38	地下水位面	2.03 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	設計加速度	350.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	地表変位(Dcy)	33.31 (cm)	液状化の程度	大

標尺	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応量力出比法	液を状考慮判定	せん断振幅					液状化の判定					判 定
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗値貫入	周抵抗摩擦			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗化比	せん断力断比	判 定					
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)			(kN/m ²)	Na	$\tau 1 / \sigma' v$	$\tau d / \sigma' v$	F L						
0	0.0																			0	1	2				
	0.50	0.50	砂質土		7.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	2.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	5.9	13.59	**1	**1	**1				
	1.00	0.50	砂質土		5.0	2.30	20.0	21.0	43.6	46.3	2.4	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	10.4	7.50	0.112	0.238	0.472				
	2.03	1.03	砂質土		5.0	3.30	20.0	21.0	54.6	67.3	2.8	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	14.8	6.70	0.106	0.272	0.391				
	3.03	1.00	砂質土		4.0	4.30	20.0	21.0	65.6	88.3	3.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	19.2	4.89	0.091	0.292	0.310				
	4.23	1.20	砂質土		2.0	5.30	20.0	21.0	76.6	109.3	3.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	23.3	2.26	0.062	0.305	0.292				
	5.43	1.20	砂質土		3.0	6.30	20.0	21.0	87.6	130.3	2.1	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	27.4	3.17	0.073	0.313	0.234				
	6.80	1.37	砂質土		17.0	7.30	18.0	19.0	97.6	150.3	4.5	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	31.1	17.04	0.187	0.318	0.587				
	7.80	1.00	砂質土		22.0	8.30	18.0	19.0	106.6	169.3	3.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	34.4	21.10	0.267	0.323	0.826				
	8.80	1.00	砂質土		26.0	9.30	18.0	19.0	115.6	188.3	6.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	37.6	25.38	0.492	0.325	1.512				
	10.10	1.30					18.0	19.0																		
	11.50	1.40					18.0	19.0																		

地 点 名：UK-1
タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max} = 350\text{gal}$

PL = 13.6 Dcy(建築指針)= 7.4 cm Dcy(高压ガス指針)= 9.2 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 20.3 cm

地点名	UK-1	P L 値	13.58	地下水位面	0.97 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	設計加速度	350.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	マグニチュード	9.0	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	地表変位(Dcy)	7.16 (cm)	液状化の程度	小

標尺	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応量力出比法	液を状考慮判定	せん断振幅					液状化の判定				
----	----	----	------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--------	---------	-------	--	--	--	--	--------	--	--	--	--

地 点 名： HA-1
タイプ 3： M7.5, $\alpha_{\max} = 350\text{gal}$

PL = 13.5 Dcy(建築指針)= 15.6 cm Dcy(高压ガス指針)= 7.6 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 17.1 cm

地点名	HA-1	P L 値	13.48	地下水位面	2.30 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d / σ' v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
		設計加速度	350.00 (gal)	**3 Fc ~ ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
		マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	13.97 (cm)	液状化の程度 中	
基準名	建築基礎構造設計指針				
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値				
Fe>50%の取扱い	∠Nf=11一定とする				

標 尺	深 さ	層 厚	土 層 種 類	土 質 特 性										応 算 力 出 法	液 考 化 考 定	せん断振幅					液状化の判定					判 定
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗値	周抵抗摩擦			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗比	せん断力断比	FL					
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)			(kN/m ²)	Na	τ / σ' v	τ d / σ' v		0 1 2					
	0	0.0																								
		0.70	0.70	砂質土											N値		0.980	5.9	15.53	**1	**1					
		1.50	0.80	砂質土		8.0	1.30	20.0	21.0			26.0	26.0	2.4	0.000	0.00	0.00	0.965	10.3	13.14	0.152	0.224	0.676			
		2.30	0.80	砂質土		9.0	2.30	20.0	21.0			46.0	46.0	3.2	0.000	0.00	0.00	0.951	14.8	6.56	0.105	0.259	0.405			
		3.50	1.20	砂質土		5.0	3.30	20.0	21.0			57.0	67.0	2.4	0.000	0.00	0.00	0.936	19.1	1.20	0.045	0.281	0.160			
		4.80	1.30	砂質土		1.0	4.30					68.0	88.0	4.4	0.000	0.00	0.00	0.936	19.1	1.20	0.045	0.281	0.160			
		5.80	1.00	砂質土		35.0	5.30	20.0	21.0			78.0	108.0	5.0	0.000	0.00	0.00	0.920	23.1	39.23	0.600	0.296	2.028			
		6.80	1.00	砂質土		40.0	6.30	18.0	19.0			87.0	127.0	3.6	0.000	0.00	0.00	0.905	26.7	42.45	0.600	0.307	1.955			
		7.80	1.00	砂質土		46.0	7.30	18.0	19.0			96.0	146.0	6.3	0.000	0.00	0.00	0.891	30.2	48.04	0.600	0.314	1.908			
		8.80	1.00	砂質土		46.0	8.30	18.0	19.0			105.0	165.0	7.4	0.000	0.00	0.00	0.876	33.5	47.32	0.600	0.319	1.879			
		9.80	1.00	砂質土		28.0	9.30	18.0	19.0			114.0	184.0	6.5	0.000	0.00	0.00	0.860	36.8	27.76	0.600	0.322	1.861			
10								18.0	19.0																	

地 点 名： HA-2
タイプ 3： M7.5, $\alpha_{\max} = 350\text{gal}$

地点名	HA-2	PL値	10.47	地下水位面	2.50 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	γ= 5 (%)	**2 τ d/σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
		設計加速度	350.00 (gal)	**3 Fc~Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
		マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	10.90 (cm)	液状化の程度 中	
基準名	建築基礎構造設計指針				
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値				
Fe>50%の取扱い	△Nf=11一定とする				

標 尺	深 さ (m)	層 厚 (m)	土 層 種 類	土 質 特 性										応 算 力 出 法	液 考 化 考 定	せん断振幅					液状化の判定					判 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧 σ' v	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗値 費入	周抵抗摩擦			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗比	せん断力断比	FL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												</

地 点 名： NK-1
タイプ 3： M7.5, $\alpha_{\max} = 350\text{gal}$

PL = 3.8 Dcy(建築指針)= 2.7 cm Dcy(高压ガス指針)= 4.4 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 6.9 cm

地点名	NK-1		P L 値		3.83		地下水位面		1.20 (m)			
			水の単位体積重量		10.0 (kN/m ³)		(注) 判定外					
			上載荷重		0.0 (kN/m ²)						**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
			使用曲線		γ = 5 (%)						**2 τ d / σ' v が 0.0 以下である(液状化の可能性は低い)	
			設計加速度		350.00 (gal)						**3 Fc ~ ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
			マグニチュード		7.5						**4 全上載圧または有効上載圧が 0.0 以下となる層である	
			地表変位(Dcy)		0.26 (cm)						液状化の程度 軽微	
基準名			建築基礎構造設計指針									
判定方法			地表面設計用水平加速度と、実測N値									
Fc>50%の取扱い			∠Nf=11一定とする									

標 尺	深 さ	層 厚	土 層 種 類	土 質 特 性										応 算 力 出 法	液 考 化 考 定	せん断振幅					液状化の判定					判 定
				N 値		判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗値費入			周抵抗摩擦	低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗比	せん断力断比	FL				
	(m)	(m)		0	50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(kN/m ²)	Na	τ 1 / σ' v	τ d / σ' v		0	1	2			
0	0.0																									
	1.20	1.20	砂質土		▽	1.0	1.30	20.0	21.0	24.9	25.9	34.4	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	5.9	11.42	0.140	0.237	0.590			
	2.20	1.00	砂質土			15.0	2.30	18.0	19.0	33.9	44.9	5.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	10.1	25.50	0.502	0.297	1.692			
	3.20	1.00	砂質土			34.0	3.30	18.0	19.0	42.9	63.9	5.8	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	14.1	52.35	0.600	0.329	1.826			
	4.20	1.00	砂質土			43.0	4.30	18.0	19.0	51.9	82.9	4.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	18.0	59.09	0.600	0.347	1.730			
	5.20	1.00	砂質土			35.0	5.30	18.0	19.0	60.9	101.9	4.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	21.8	44.40	0.600	0.358	1.678			
	6.20	1.00	砂質土			22.0	6.30	18.0	19.0	69.9	120.9	5.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	25.4	26.05	0.552	0.364	1.517			
	7.20	1.00	砂質土			22.0	7.30	18.0	19.0	78.9	139.9	3.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	28.9	24.52	0.427	0.367	1.165			
	8.20	1.00	砂質土			41.0	8.30	18.0	19.0	87.9	158.9	6.5	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	32.3	45.09	0.600	0.367	1.633			
	9.20	1.00	砂質土			31.0	9.30	18.0	19.0	96.9	177.9	6.9	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	35.5	33.46	0.600	0.367	1.636			
10	10.20	1.00						18.0	19.0																	

地 点 名： JG-S-1
タイプ 3： M7.5, $\alpha_{\max} = 350\text{gal}$

地点名	JG-S-1		P L 値		7.41	地下水位面	1.70 (m)
			水の単位体積重量		10.0 (kN/m³)	(注)	判定外
			上載荷重		0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
			使用曲線		γ = 5 (%)	**2 τ d / σ' v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
			設計加速度		350.00 (gal)	**3 Fc ~ ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
			マグニチュード		7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
			地表変位(Dcy)		9.36 (cm)	液状化の程度 小	
基準名	建築基礎構造設計指針						
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値						
Fe>50%の取扱い	∠Nf=11一定とする						

標 尺	深 さ	層 厚	土 層 種 類	土 質 特 性										応 算 力 出 法	液 考 化 考 定	せん断振幅					液状化の判定					判 定
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧 σ' v	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径 D50	コ抵抗値 費入	周抵抗摩擦			低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗比	せん断力断比	FL					
	(m)	(m)	(m)	0 50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	(kN/m²)	(kN/m²)	(%)		(kN/m²)	(kN/m²)			(kN/m²)	Na	τ / σ' v	τ d / σ' v		FL	0 1 2				
0	0.0																									
	0.90	0.90	砂質土		8.0	1.30	20.0	21.0	26.0	26.0	2.2	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	5.9	15.53	**1	**1	**1				
	1.70	0.80	砂質土				20.0	21.0							N値		0.965	10.2	11.04	0.182	0.258	0.705				
	2.70	1.00	砂質土		7.0	2.30	18.0	19.0	39.4	45.4	2.4	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	14.2	24.19	0.406	0.294	1.381				
	3.80	1.10	砂質土		17.0	3.30	18.0	19.0	48.4	64.4	2.8	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	18.1	27.44	0.600	0.316	1.902				
	4.80	1.00	砂質土		21.0	4.30	18.0	19.0	57.4	83.4	3.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	21.9	30.37	0.600	0.330	1.821				
	5.80	1.00	砂質土		25.0	5.30	18.0	19.0	66.4	102.4	2.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	25.5	21.66	0.285	0.338	0.842				
	6.70	0.90	砂質土		19.0	6.30	18.0	19.0	75.4	121.4	2.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	29.0	28.02	0.600	0.344	1.745				
	7.60	0.90	砂質土		26.0	7.30	18.0	19.0	84.4	140.4	2.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	32.4	24.46	0.423	0.347	1.219				
	8.50	0.90	砂質土		22.0	8.30	18.0	19.0	93.4	159.4	6.6	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	35.6	5.83	0.099	0.348	0.285				
	9.50	1.00	砂質土		4.0	9.30	18.0	19.0	102.4	178.4	6.6	0.000	0.00	0.00	N値											
10																										

地 点 名：NH-S-1
タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 350gal

PL = 8.0 Dcy(建築指針)= 8.5 cm Dcy(高压ガス指針)= 9.2 cm
Dcy(Dr- ϵ 関係)= 19.7 cm

地点名		NH-S-1										PL値		7.95	地下水位面		1.91 (m)								
												水の単位体積重量		10.0 (kN/m³)	(注) 判定外										
												上載荷重		0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)										
基準名		建築基礎構造設計指針										使用曲線		γ = 2 (%)	**2 τ d / σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)										
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測N値										設計加速度		350.00 (gal)	**3 Fc ~ ∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)										
Fc > 50%の取扱い		∠Nf = 11一定とする										マグニチュード		7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である										
												地表変位(Dey)		7.57 (cm)	液状化の程度 小										
標尺	土 質 特 性															液状化の判定									
	深さ (m)	層厚 (m)	土層種類	N 値	判定深さ (m)	湿潤重量 (kN/m³)	飽和重量 (kN/m³)	有上載効圧 σ' v (kN/m²)	全上載圧 (kN/m²)	細含粒有土率 (%)	平均粒径 D50	コ抵抗 値 貫入 (kN/m²)	周抵抗 面抗 摩擦 (kN/m²)	応算力出比	液を状考慮判定	低減係数	せん断力断 (kN/m²)	補正N値 Na	液抵抗比 τ / σ' v	せん断力断比 τ d / σ' v	判定 FL				
0	0.0																								
	0.60	0.60				20.0	21.0																		
	1.91	1.31	砂質土		7.0	1.30			26.0	26.0	3.8	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	5.9	13.59	**1	**1	**1			
	2.80	0.89	砂質土		4.0	2.30			42.5	46.4	20.5	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	10.4	14.12	0.182	0.245	0.755			
	3.80	1.00	砂質土		4.0	3.30			53.5	67.4	20.5	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	14.9	13.46	0.182	0.278	0.644			
	4.80	1.00	砂質土		5.0	4.30			64.5	88.4	6.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	19.2	7.72	0.182	0.298	0.611			
	5.80	1.00	砂質土		28.0	5.30			74.5	108.4	20.5	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	23.2	40.17	0.600	0.311	1.930			
	6.80	1.00	砂質土		30.0	6.30			83.5	127.4	4.5	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	26.8	32.50	0.600	0.321	1.871			
	7.80	1.00	砂質土		29.0	7.30			92.5	146.4	18.4	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	30.3	37.53	0.600	0.327	1.834			
	8.80	1.00	砂質土		23.0	8.30			101.5	165.4	13.7	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	33.6	29.34	0.429	0.331	1.297			
9.80	1.00	砂質土	31.0		9.30			110.5	184.4	14.7	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	36.8	36.14	0.600	0.333	1.800				
10	11.02	1.22																							
	12.02	1.00																							

地 点 名：AH-1
タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 350gal

地点名	AH-1										PL 値	7.82	地下水位面	1.05 (m)								
											水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外									
											上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)									
基準名	建築基礎構造設計指針										使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d / σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)									
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値										設計加速度	350.00 (gal)	**3 Fc ~ ∠NFグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)									
Fc > 50%の取扱い	∠NF = 11一定とする										マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である									
											地表変位(Dcy)	3.90 (cm)	液状化の程度 軽微									
標尺	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応力出力比法	液を扶考慮判定	せん断振幅		液状化の判定				
				N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗値	周抵抗摩擦			判定	低減係数	せん断力断	補正N値	液抵抗比	せん断力断比	判定
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(kN/m ²)	Na	τ l / σ' v	τ d / σ' v	FL	0 1 2		
0	0.0														N値							
	1.05	1.05	砂質土		10.0	1.30	20.0	21.0	23.8	26.3	3.1	0.000	0.00	0.00	N値	0.980	6.0	20.31	0.245	0.252		0.974
	1.95	0.90	砂質土		9.0	2.30	20.0	21.0	34.8	47.3	3.0	0.000	0.00	0.00	N値	0.965	10.6	15.11	0.167	0.305		0.548
	2.85	0.90	砂質土		10.0	3.30	20.0	21.0	45.8	68.3	4.8	0.000	0.00	0.00	N値	0.951	15.1	14.64	0.163	0.329		0.495
	3.80	0.95	砂質土		27.0	4.30	20.0	21.0	55.8	88.3	7.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.936	19.2	38.68	0.600	0.344		1.745
	4.80	1.00	砂質土		29.0	5.30	18.0	19.0	64.8	107.3	7.4	0.000	0.00	0.00	N値	0.920	22.9	38.56	0.600	0.354		1.695
	5.80	1.00	砂質土		32.0	6.30	18.0	19.0	73.8	126.3	10.2	0.000	0.00	0.00	N値	0.905	26.5	42.93	0.600	0.360		1.667
	6.80	1.00	砂質土		31.0	7.30	18.0	19.0	82.8	145.3	8.2	0.000	0.00	0.00	N値	0.891	30.0	37.58	0.600	0.363		1.654
	7.80	1.00	砂質土		36.0	8.30	18.0	19.0	91.8	164.3	10.8	0.000	0.00	0.00	N値	0.876	33.4	43.37	0.600	0.364		1.649
	9.12	1.32	砂質土		27.0	9.30	18.0	19.0	100.8	183.3	5.3	0.000	0.00	0.00	N値	0.860	36.6	26.99	0.600	0.363		1.651
10	10.12	1.00				18.0	19.0															

地 点 名：SN-S-1
タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 350gal

PL = 11.9 Dcy(建築指針)= 21.4 cm Dcy(高压ガス指針)= 11.9 cm
Dcy(Dr- ϵ 関係)= 24.6 cm

地点名		SN-S-1		P L 値		11.85		地下水位面		1.20 (m)																
				水の単位体積重量		10.0 (kN/m ³)		(注)		判定外																
				上載荷重		0.0 (kN/m ²)				**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)																
基準名		建築基礎構造設計指針		使用曲線		γ = 5 (%)				**2 τ d / σ' v が 0.0 以下である(液状化の可能性は低い)																
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測 N 値		設計加速度		350.00 (gal)				**3 Fc ~ ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)																
Fc > 50% の取扱い		∠Nf = 11 一定とする		マグニチュード		7.5				**4 全上載圧または有効上載圧が 0.0 以下となる層である																
				地表変位 (Dcy)		19.56 (cm)				液状化の程度 中																
標尺	土 質 特 性													液状化の判定												
	深さ	層厚	土層種類	N 値	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載効圧 σ' v	全上載圧	細含粒有土率	平均粒径	コ抵抗 抗 ン値 貫入	周抵抗 面抗 摩擦	応力の此法	液を状化 判定	せん断振幅	せん断係数	せん断力 断	補正 N 値	液相 状化 比	せん断力 断比	判 定				
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)				(kN/m ²)	8α	± 1 / σ' v	± d / σ' v	FL	0 1				
0	0.0	1.20	砂質土		5.0	1.30	20.0	21.0	25.1	26.1	4.5	0.000	0.00	0.00	N 値		0.080	5.9	9.88	0.182	0.257	0.769				
	2.50	1.30	砂質土		2.0	2.30	20.0	21.0	36.1	47.1	4.5	0.000	0.00	0.00	N 値		0.065	10.6	3.30	0.182	0.292	0.622				
	3.50	1.30	砂質土		2.0	3.30	20.0	21.0	47.1	68.1	4.5	0.000	0.00	0.00	N 値		0.051	15.0	2.88	0.182	0.319	0.570				
	4.80	1.00	砂質土		8.0	4.30	20.0	21.0	58.1	89.1	5.0	0.000	0.00	0.00	N 値		0.036	19.3	10.39	0.182	0.333	0.546				
	5.80	1.00	砂質土		28.0	5.30	18.0	19.0	68.1	109.1	2.1	0.000	0.00	0.00	N 値		0.026	23.3	33.69	0.400	0.342	1.752				
	6.80	1.00	砂質土		22.0	6.30	18.0	19.0	77.1	128.1	2.1	0.000	0.00	0.00	N 値		0.005	26.9	24.80	0.447	0.349	1.280				
	7.80	1.00	砂質土		26.0	7.30	18.0	19.0	86.1	147.1	5.6	0.000	0.00	0.00	N 値		0.891	30.4	28.46	0.600	0.353	1.699				
	8.80	1.00	砂質土		20.0	8.30	18.0	19.0	95.1	166.1	9.1	0.000	0.00	0.00	N 値		0.876	33.8	25.22	0.479	0.355	1.349				
	9.80	1.00	砂質土		31.0	9.30	18.0	19.0	104.1	185.1	6.9	0.000	0.00	0.00	N 値		0.860	37.0	32.36	0.600	0.355	1.689				
	10	10.80	1.00					18.0	19.0																	
	12.01	1.21				18.0	19.0																			

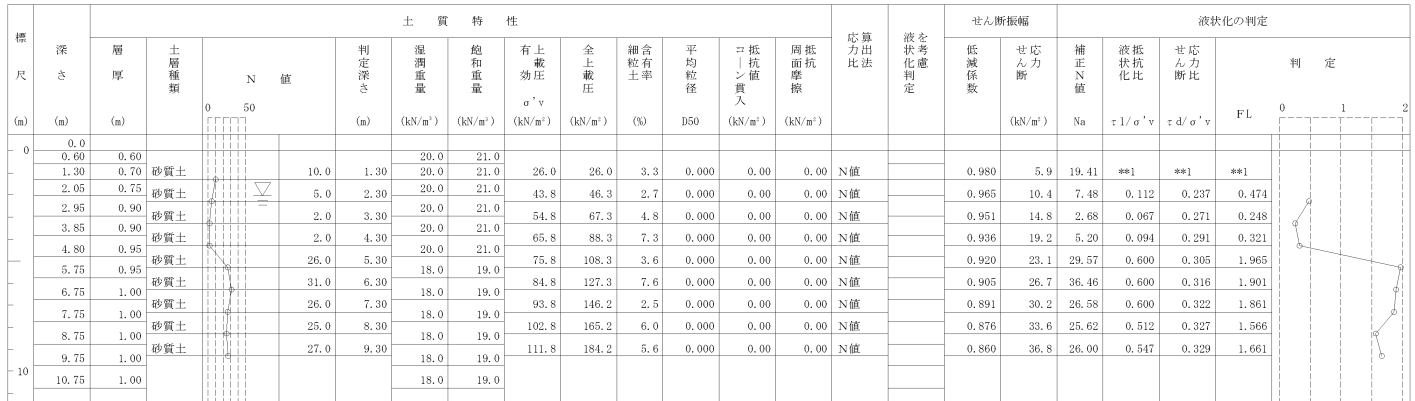
地 点 名：SN-S-2
タイプ3：M7.5， $\alpha_{\max}$ = 350gal

地点名		SN-S-2										P L 値		12.50	地下水位面		1.43 (m)					
												水の単位体積重量		10.0 (kN/m³)	(注) 判定外							
												上載荷重		0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)							
基準名		建築基礎構造設計指針										使用曲線		γ = 5 (%)	**2 τ d / σ' v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)							
判定方法		地表面設計用水平加速度と、実測N値										設計加速度		350.00 (gal)	**3 Fc ~ ∠Nf グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)							
Fc > 50%の取扱い		∠Nf = 11一定とする										マグニチュード		7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である							
												地表変位(Dcy)		13.86 (cm)	液状化の程度 中							
標 尺	深 さ	層 厚	土 層 種 類	N 値	判定 深さ	湿 潤 重 量	飽 和 重 量	有上 載 効 率	全上 載 圧	細か 粒 有 土 率	平 均 粒 径	コ 抵 抗 入 力	周 抵 抗 摩 擦	応 力 出 比	液 を 状 化 層 判 定	せん断断層		液状化の判定				
																低 減 係 数	せん 断 力	補 正 N 値	液 状 化 比	せん 断 力 断 比	判 定	
(m)	(m)	(m)		0 50	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	(kN/m³)	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)			(kN/m²)	Na	τ 1 / σ' v	τ d / σ' v	F1	0 1 2	
0	0.0	0.50																				
	0.50	0.50																				
	1.43	0.93	砂質土		8.0	1.30			26.0	26.0	6.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.980	5.9	17.09	**1	**1	**1
	2.43	1.00	砂質土		2.0	2.30			38.2	46.9	10.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.965	10.5	9.20	0.182	0.275	0.661
	3.43	1.00	砂質土		8.0	3.30			49.2	67.9	8.1	0.000	0.00	0.00	N値		0.951	15.0	15.01	0.182	0.305	0.598
			砂質土		3.0	4.30			60.2	88.9	2.1	0.000	0.00	0.00	N値		0.936	19.3	3.83	0.182	0.321	0.567
	4.80	1.37	砂質土		30.0	5.30			70.2	108.9	2.1	0.000	0.00	0.00	N値		0.920	23.3	35.45	0.600	0.332	1.810
	5.80	1.00	砂質土		28.0	6.30			79.2	127.9	2.1	0.000	0.00	0.00	N値		0.905	26.9	31.15	0.600	0.340	1.767
	6.80	1.00	砂質土		31.0	7.30			88.2	146.9	9.0	0.000	0.00	0.00	N値		0.891	30.4	37.48	0.600	0.344	1.742
	7.80	1.00	砂質土		28.0	8.30			97.2	165.9	14.9	0.000	0.00	0.00	N値		0.876	33.7	35.10	0.600	0.347	1.729
10	8.80	1.00	砂質土		16.0	9.30			106.2	184.9	9.3	0.000	0.00	0.00	N値		0.860	36.9	20.53	0.251	0.348	0.720
	9.80	1.00																				
	11.80	2.00																				

地 点 名：SG-1
タイプ3：M7.5, $\alpha_{\max} = 350\text{gal}$

PL = 14.9 Dcy(建築指針)= 18.9 cm Dcy(高压ガス指針)= 8.8 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 18.9 cm

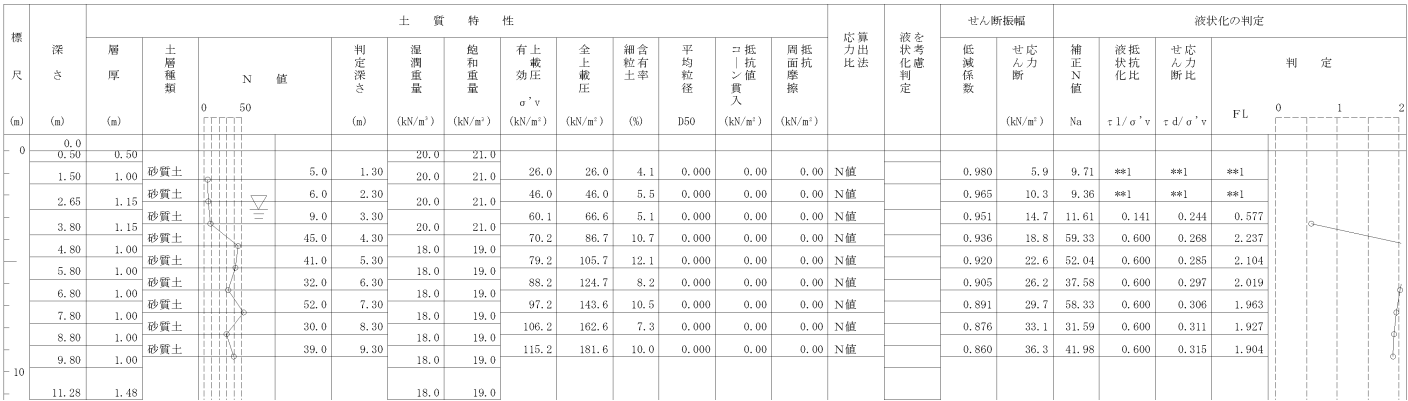
地点名	SG-1	P L 値	14.90	地下水位面	2.05 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	350.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	17.09 (cm)	液状化の程度 中	



地 点 名：SG-2
タイプ3：M7.5, $\alpha_{\max} = 350\text{gal}$

PL = 4.1 Dcy(建築指針)= 3.1 cm Dcy(高压ガス指針)= 3.3 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 7.8 cm

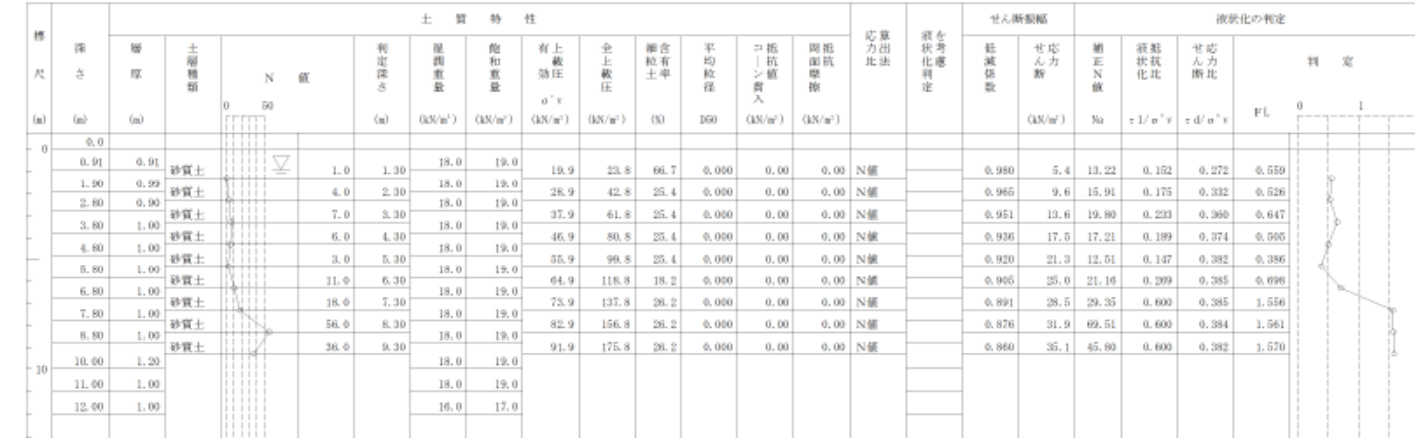
地点名	SG-2	P L 値	4.06	地下水位面	2.65 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	350.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	1.67 (cm)	液状化の程度 軽微	



地 点 名：HG-S-1
タイプ3：M7.5, $\alpha_{\max} = 350\text{gal}$

PL = 21.3 Dcy(建築指針)= 9.9 cm Dcy(高压ガス指針)= 18.1 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 22.5 cm

地点名	HG-S-1	P L 値	21.27	地下水位面	0.91 (m)
		水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外	
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
判定方法	地表面設計用水平加速度と、実測N値	設計加速度	350.00 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である	
		地表変位(Dcy)	8.53 (cm)	液状化の程度 小	



応答解析詳細結果 タイプ1

検討結果の詳細

- 手法：地震応答解析FDELによる液状化判定（タイプ1：建築損傷状態検討用適合波）
- 基準：「建築基礎構造設計指針」（日本建築学会：2001年10月）

地 点 名：旭市役所
基盤に与える波形：M7.5, α max=137gal
L1（旭基盤）適合波加速度波形図

PL = 0.0 Dcy(建築指針)= 0.0 cm Dcy(高压ガス指針)= 0.7 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 0.0 cm

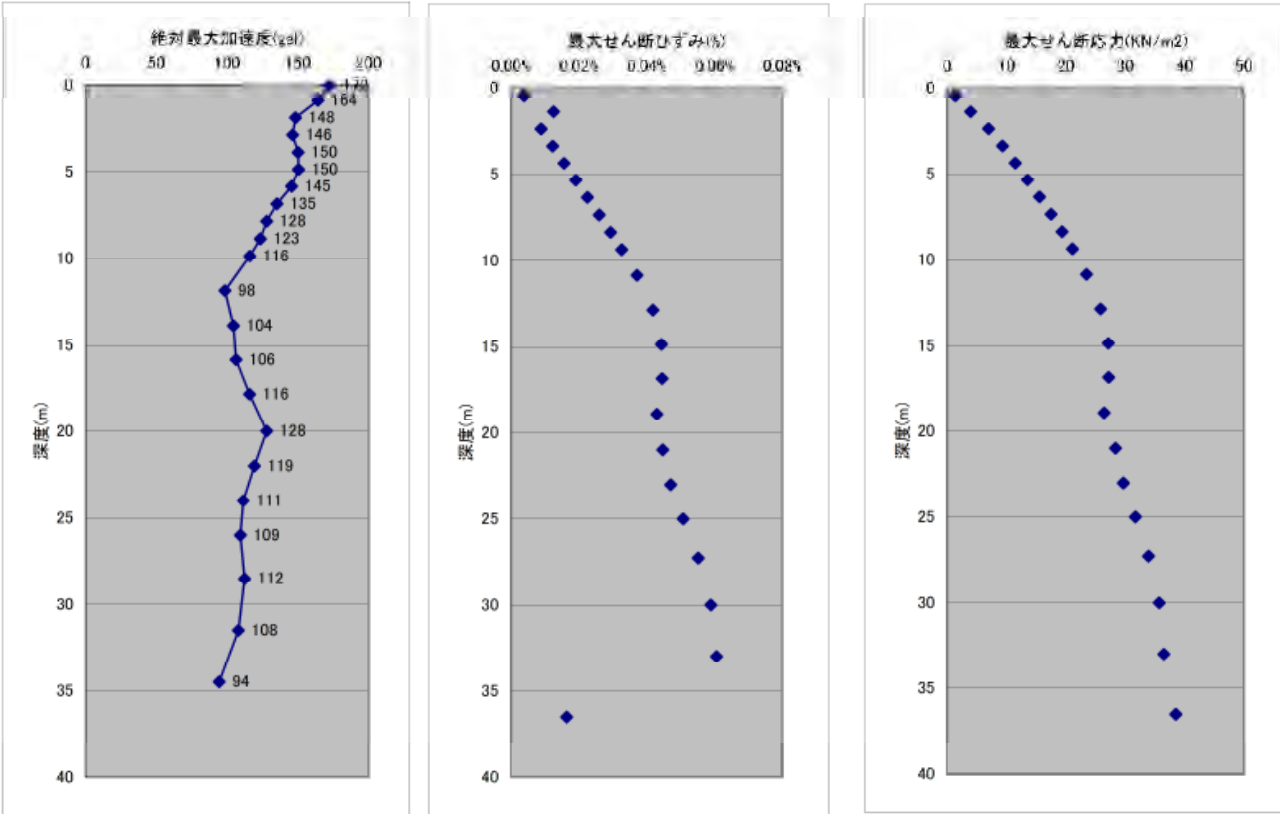
地 点 名：飯岡支所
基盤に与える波形：M7.5, α max=137gal
L1（旭基盤）適合波加速度波形図

PL = 0.4 Dcy(建築指針)= 0.6 cm Dcy(高压ガス指針)= 1.9 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 6.8 cm

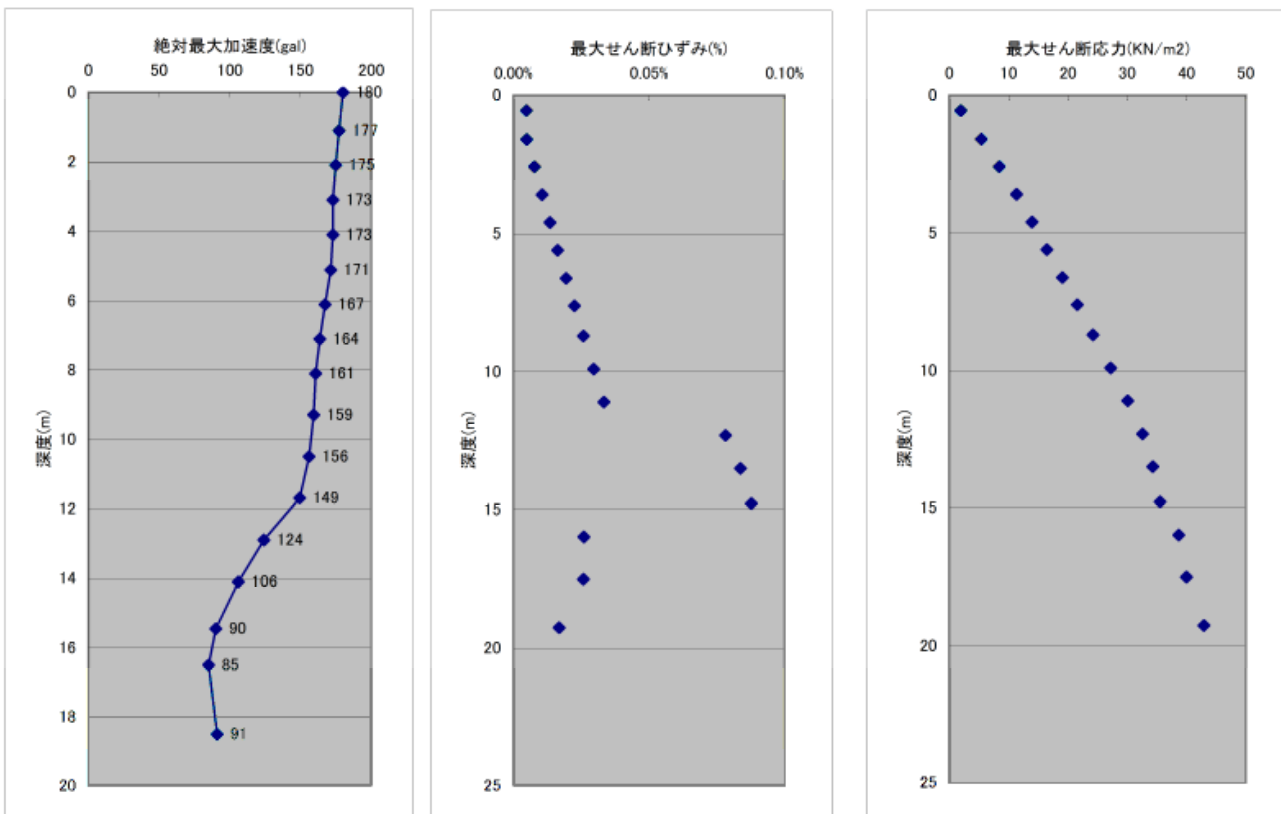
地点名	地震計位置_旭市役所_中央污水ポンプ場	PL 値	0.000	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値
入力波名	kentiku_sonsyou	水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	(注) 判定外
		土載荷重	0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
		使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d/σ'vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)
		基礎加速度	98.37 (gal)	**3 Fc~∠NFグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である
		補正係数	1.000	地下水位面 1.85 (m)
標準		土 質 特 性		
尺				
深				
さ				
(m)				
0				
0.85	0.85	砂質土		
1.85	1.00	砂質土		
2.85	1.00	砂質土		
3.85	1.00	砂質土		
4.85	1.00	砂質土		
5.85	1.00	砂質土		
6.85	1.00	砂質土		
7.85	1.00	砂質土		
8.85	1.00	砂質土		
9.85	1.00	砂質土		
10				
11.85	2.00			

地点名	地震計位置_飯岡支所	PL 値	0.427	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値
入力波名	kentiku_sonsyou	水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	(注) 判定外
		土載荷重	0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
		使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d/σ'vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)
		基礎加速度	95.29 (gal)	**3 Fc~∠NFグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である
		補正係数	1.000	地下水位面 1.10 (m)
標準		土 質 特 性		
尺				
深				
さ				
(m)				
0				
1.10	1.10	砂質土		
2.10	1.00	砂質土		
3.10	1.00	砂質土		
4.10	1.00	砂質土		
5.10	1.00	砂質土		
6.10	1.00	砂質土		
7.10	1.00	砂質土		
8.10	1.00	砂質土		
9.30	1.20	砂質土		
10.50	1.20			
11.70	1.20			

最大応答値深度分布図
ケース kentiku_sonsyo



最大応答値深度分布図
ケース kentiku_sonsyo



地点名：海上支所
基盤に
与える波形： M7.5, $\alpha_{max}=137gal$
L1（旭基盤）適合波加速度波形図

PL = 0.0 Dcy(建築指針)= 0.0 cm Dcy(高压ガス指針)= 0.0 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 0.0 cm

地点名：干潟支所
基盤に
与える波形： M7.5, $\alpha_{max}=137gal$
L1（旭基盤）適合波加速度波形図

PL = 4.9 Dcy(建築指針)= 2.3 cm Dcy(高压ガス指針)= 4.8 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 6.4 cm

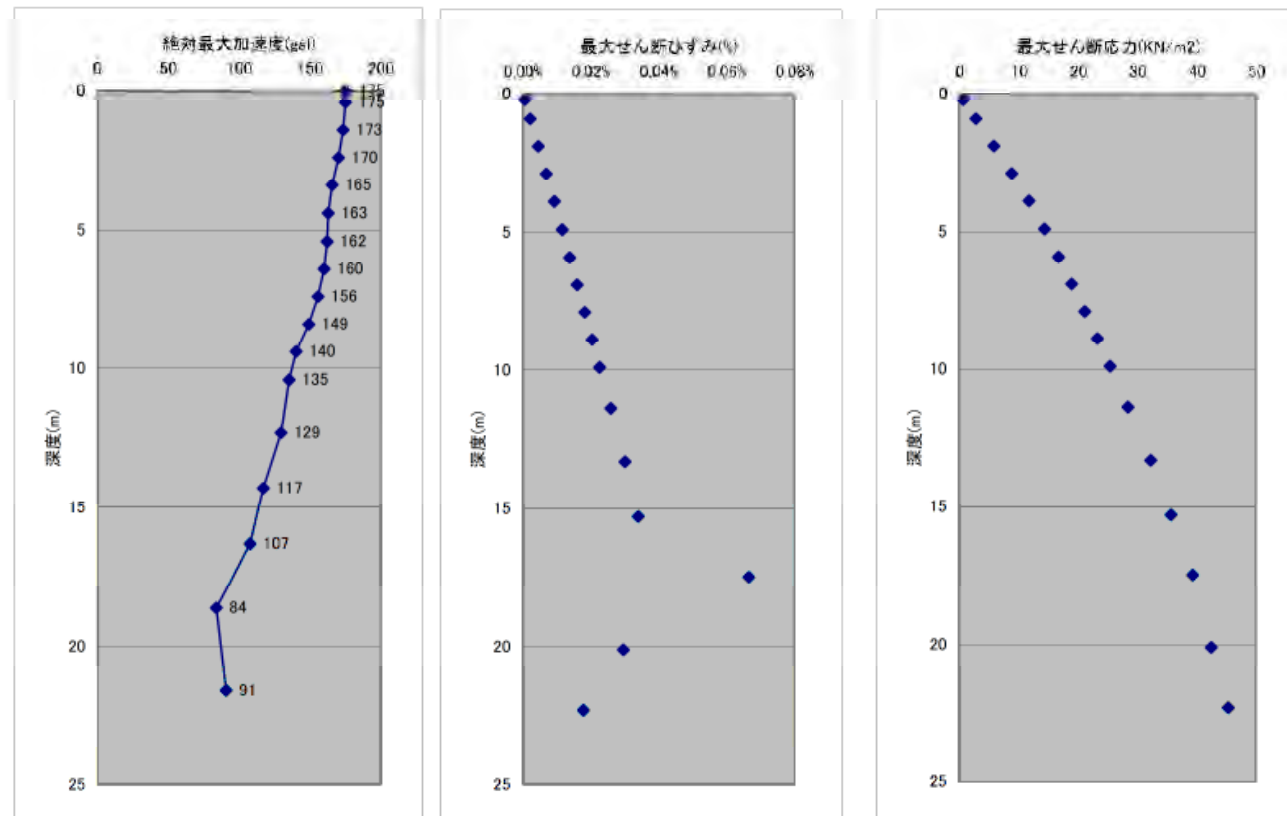
地点名	地震計位置_海上支所	PL値	0.000	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値 (注) 判定外
入力波名	kentiku sonsyou	水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
		上載荷重	0.0 (kN/m²)	**2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**3 $F_c \sim \angle NF$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	基礎加速度	96.26 (gal)	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle NF = 11$ 一定とする	マグニチュード	7.5	地下水位面 0.00 (m)
		補正係数	1.000	

標尺	深さ (m)	層厚 (m)	土層種類	N 値 0 50	土 質 特 性										応力出法	液状化判定	地震応答値					液状化の判定					判 定			
					振動度三軸軸	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載圧 $\sigma'v$	全上載圧	総合せん断率	平均粒径	コ抵抗シ値貫入	周抵抗係数			最大加速度	最大歪	最大せん断せん力	補正N値	液状化比	せん断力断比	FL	0	1	2				
	0	0.40	砂質土	23.0	0.000	1.30	18.0	19.0	11.70	24.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		170.8	0.000	2.8	73.61	0.600	0.324	1.852							
	1.00	1.00	砂質土	34.0	0.000	2.30	18.0	19.0	20.70	43.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		169.7	0.002	5.8	81.02	0.600	0.277	2.164							
	2.40	1.00	砂質土	68.0	0.000	3.30	18.0	19.0	29.70	62.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		167.6	0.005	8.8	130.56	0.600	0.258	2.323							
	3.40	1.00	砂質土	79.0	0.000	4.30	18.0	19.0	38.70	81.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		164.5	0.007	11.8	132.75	0.600	0.242	2.481							
	4.40	1.00	砂質土	43.0	0.000	5.30	18.0	19.0	47.70	100.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		160.2	0.009	14.4	68.67	0.600	0.228	2.637							
	5.40	1.00	砂質土	58.0	0.000	6.30	18.0	19.0	56.70	119.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		155.4	0.012	16.7	83.29	0.600	0.218	2.755							
	6.40	1.00	砂質土	63.0	0.000	7.30	18.0	19.0	65.70	138.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		149.8	0.009	14.4	83.98	0.600	0.210	2.861							
	7.40	1.00	砂質土	42.0	0.000	8.30	18.0	19.0	74.70	157.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		143.8	0.017	21.2	55.15	0.600	0.203	2.959							
	8.40	1.00	砂質土	75.0	0.000	9.30	18.0	19.0	83.70	176.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		137.5	0.022	25.4	88.19	0.600	0.197	3.042							
	9.40	1.00	砂質土				18.0	19.0									131.1	0.024	28.4											
	10.40	1.00					18.0	19.0									124.6													
	12.30	1.90					18.0	19.0									111.2	0.027	32.3											

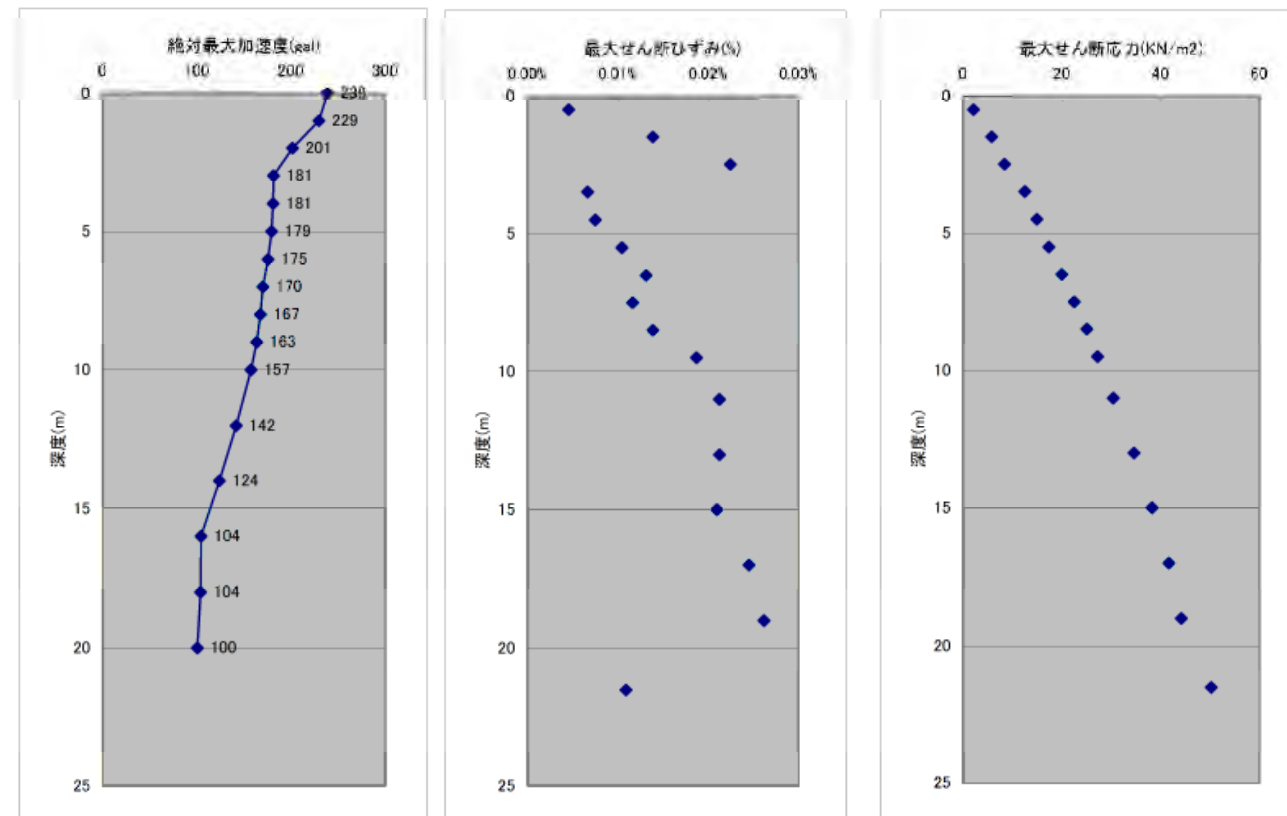
地点名	地震計位置_干潟支所	PL値	4.915	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値 (注) 判定外
入力波名	kentiku sonsyou	水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
基準名	建築基礎構造設計指針	上載荷重	0.0 (kN/m²)	**2 $\tau d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**3 $F_c \sim \angle NF$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
Fe>50%の取扱い	$\angle NF=11$ 一定とする	基礎加速度	93.63 (gal)	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である
		マグニチュード	7.5	地下水位面 0.00 (m)
		補正係数	1.000	

標尺	深さ (m)	層厚 (m)	土層種類	N 値 0 50	土 質 特 性										応力出法	液状化判定	地震応答値					液状化の判定					
					振動加速度三軸軸	判定深さ	湿潤密度	飽和密度	有上載圧 $\sigma'v$	全上載圧	総合せん断率	平均粒径	コ抵抗シ値貫入	周抵抗係数			最大加速度	最大歪	最大せん断せん力	補正N値	液状化比	せん断力断比	判定	FL	0	1	2
	0	0.9	砂質土	7.0	0.000	1.30	18.0	19.0	11.70	24.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		223.4	0.004	5.1	28.26	0.600	0.464	1.292				
	1.00	1.00	砂質土	7.0	0.000	1.30	18.0	19.0	11.70	24.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		215.2	0.014	8.4	16.70	0.183	0.390	0.466				
	2.00	1.00	砂質土	4.0	0.000	2.30	18.0	19.0	20.70	43.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		190.4	0.024	12.5	44.90	0.600	0.000					
	3.00	1.00	砂質土	8.0	0.000	3.30	18.0	19.0	29.70	62.70	15.2	0.000	0.00	0.00	N値		181.1	0.007	14.9	22.61	0.322	0.329	0.977				
	4.00	1.00	粘性土	21.0	0.000	4.30	17.0	18.0	37.40	80.40	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	しない	182.0	0.008	17.3	44.90	0.600	0.000					
	5.00	1.00	粘性土	22.0	0.000	5.30	17.0	18.0	46.40	99.40	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	しない	181.5	0.011	19.9	43.32	0.600	0.000					
	6.00	1.00	粘性土	17.0	0.000	6.30	17.0	18.0	55.40	118.40	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	しない	179.1	0.014	22.5	34.03	0.600	0.000					
	7.00	1.00	粘性土	16.0	0.000	7.30	17.0	18.0	64.40	134.40	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	しない	174.5	0.012	25.0	31.21	0.600	0.000					
	8.00	1.00	粘性土	23.0	0.000	8.30	17.0	18.0	73.40	152.40	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	しない	168.5	0.015	27.2	38.33	0.600	0.000					
	9.00	1.00	粘性土	20.0	0.000	9.30	17.0	18.0	77.40	170.40	81.6	0.000	0.00	0.00	N値	しない	162.0	0.020	30.4	33.50	0.600	0.000					
	10.00	1.00					17.0	18.0									152.2										
	12.00	2.00					17.0	18.0									132.2	0.023	34.6								

最大応答値深度分布図
ケース kentiku sonsyo



最大応答値深度分布図
ケース kentiku sonsyo



地点名：旭中央病院
基盤に与える波形：M 7.5, $\alpha_{max}=137gal$
L1 (旭基盤) 適合波加速度波形図

PL = 2.8 Dcy(建築指針)= 1.5 cm Dcy(高压ガス指針)= 4.1 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 9.3 cm

地点名：日の出保育所
基盤に与える波形：M 7.5, $\alpha_{max}=137gal$
L1 (旭基盤) 適合波加速度波形図

PL = 6.1 Dcy(建築指針)= 20.3 cm Dcy(高压ガス指針)= 8.4 cm
Dcy(Dr- ε 関係)= 19.6 cm

地点名	被害家屋密集域_旭_内陸側_中央病院B-1	PL値	2.815	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値	
入力波名	kentiku sonsyo	水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	(注) 判定外	
		土載荷重	0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d / σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
		基礎加速度	124.84 (gal)	**3 Fc ~ ∠Nfグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
		マグニチュード	7.5	**4 全土載圧または有効土載圧が0.0以下となる層である	
		補正係数	1.000	地下水位面	0.00 (m)
基準名	建築基礎構造設計指針				
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値				
Fc>50%の取扱い	∠Nf=11一定とする				

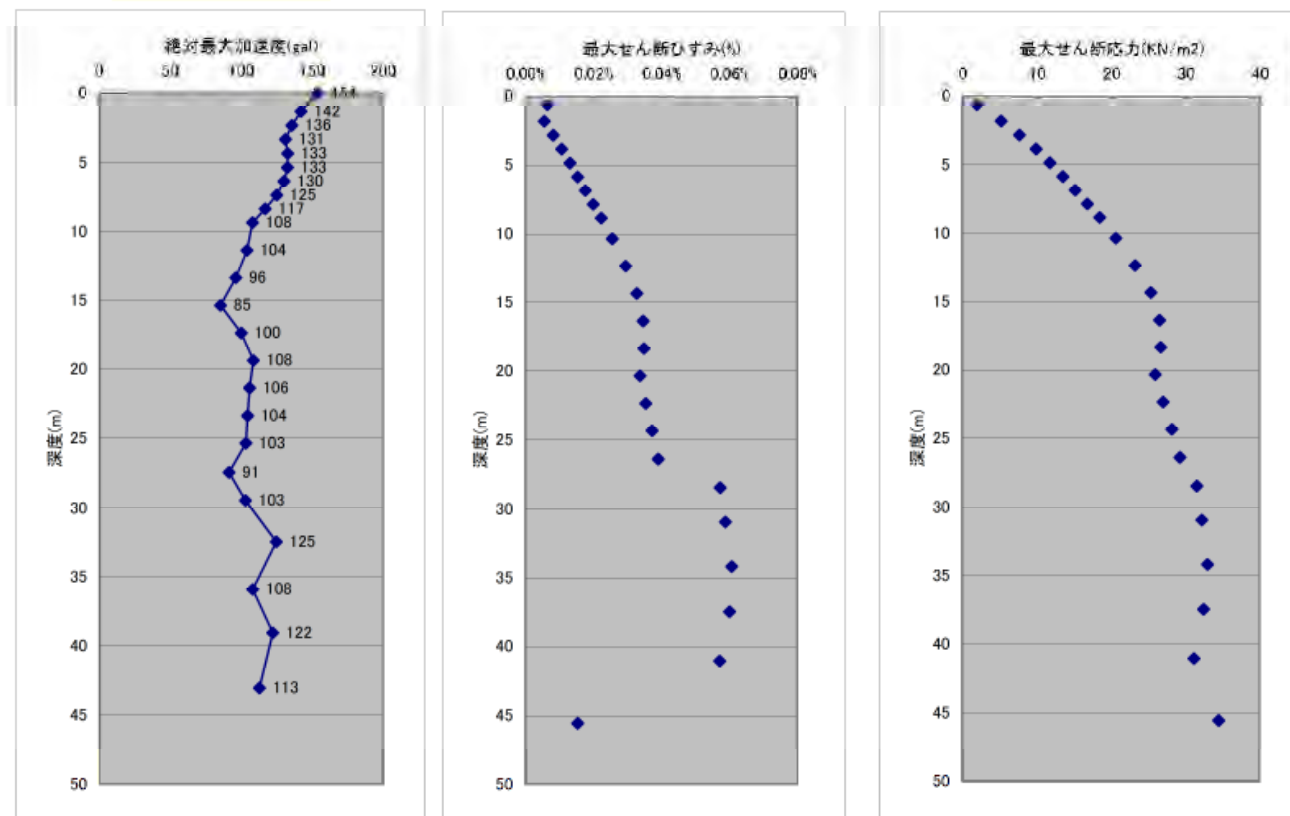
標準 尺	深 さ (m)	層 厚 (m)	土 層 種 類	土 質 特 性										応 答 力 出 法	液 状 化 考 慮 判 定	地震応答値					液状化の判定				
				N 値	振 動 三 比 軸	判定 深 さ	湿 潤 重 量	飽 和 重 量	有 効 土 載 圧	全 土 載 圧	細 骨 粒 有 率	平 均 粒 径	コ レ シ ー 値 貫 入			周 辺 面 積 摩 擦	最大 速 度	最大 変 位	最大 せん 断 力	補 正 N 値	液 状 化 比	せん 断 力 断 比	判 定		
(m)	(m)	(m)		0 50	FL	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	σ' v	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)		(gal)	(%)	(kN/m²)	Na	τ 1 / σ' v	τ d / σ' v	FL	0 1 2		
0	0.0															132.2	0.006	5.2							
	1.35	1.35	砂質土	3.0	0.000	1.30	20.0	21.0	14.30	27.30	30.0	0.000	0.00	0.00	N値	125.7	0.005	7.7	16.85	0.185	0.238	0.777			
	2.35	1.00	砂質土	14.0	0.000	2.30	18.0	19.0	23.40	46.40	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	123.3	0.007	9.9	29.25	0.600	0.213	2.813			
	3.35	1.00	砂質土	28.0	0.000	3.30	18.0	19.0	32.40	65.40	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	123.4	0.010	11.8	49.30	0.600	0.199	3.012			
	4.35	1.00	砂質土	25.0	0.000	4.30	18.0	19.0	41.40	84.40	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	122.6	0.012	13.5	39.06	0.600	0.185	3.239			
	5.35	1.00	砂質土	27.0	0.000	5.30	18.0	19.0	50.40	103.40	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	120.5	0.015	15.2	38.25	0.600	0.174	3.446			
	6.35	1.00	砂質土	28.0	0.000	6.30	18.0	19.0	59.40	122.40	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	116.5	0.018	16.8	35.56	0.600	0.166	3.607			
	7.35	1.00	砂質土	29.0	0.000	7.30	18.0	19.0	68.40	141.40	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	110.5	0.019	16.8	33.31	0.600	0.160	3.758			
	8.35	1.00	砂質土	26.0	0.000	8.30	18.0	19.0	77.40	160.40	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	102.3	0.020	18.5	29.86	0.600	0.155	3.862			
	9.35	1.00	砂質土	20.0	0.000	9.30	18.0	19.0	86.40	179.40	5.5	0.000	0.00	0.00	N値	93.4	0.023	20.7	21.90	0.294	0.156	1.885			
10	11.35	2.00					18.0	19.0								86.9	0.026	23.3							
																	86.9	0.030	25.4						

地点名	被害家屋密集域_旭_砂鉄鉱区	PL値	6.079	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値	
入力波名	kentiku sonsyo	水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	(注) 判定外	
		土載荷重	0.0 (kN/m²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		使用曲線	γ = 5 (%)	**2 τ d / σ' vが0.0以下である(液状化の可能性は低い)	
		基礎加速度	113.92 (gal)	**3 Fc～NFグラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
		マグニチュード	7.5	**4 全土載圧または有効土載圧が0.0以下となる層である	
		補正係数	1.000	地下水位面	1.50 (m)
		基準名	建築基礎構造設計指針		
		判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値		
		Fc>50%の取扱い	△NF=11一定とする		

標準 尺	深 さ (m)	層 厚 (m)	土 層 種 類	土 質 特 性										応 答 力 出 法	液 状 化 考 慮 判 定	地震応答値					液状化の判定				
				N 値	振 動 三 比 軸	判定 深 さ	湿 潤 重 量	飽 和 重 量	有 効 土 載 圧	全 土 載 圧	細 骨 粒 有 率	平 均 粒 径	コ レ シ ー 値 貫 入			周 辺 面 積 摩 擦	最大 速 度	最大 変 位	最大 せん 断 力	補 正 N 値	液 状 化 比	せん 断 力 断 比	判 定		
(m)	(m)	(m)		0 50	FL	(m)	(kN/m³)	(kN/m³)	σ' v	(kN/m²)	(%)	D50	(kN/m²)	(kN/m²)		(gal)	(%)	(kN/m²)	Na	τ d / σ' v	τ d / σ' v	FL	0 1 2		
0	0.0															145.8									
	1.35	1.35	砂質土	7.0	0.000	1.30	20.0	21.0	26.00	26.00	30.0	0.000	0.00	0.00	N値	143.2	0.005	5.0	22.59	0.090	0.100	0.898			
	2.35	1.00	砂質土	3.0	0.000	2.30	20.0	21.0	38.80	46.80	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	139.8	0.017	7.1	4.77	0.009	0.100	0.898			
	3.35	1.00	砂質土	2.0	0.000	3.30	20.0	21.0	49.80	67.80	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	130.8	0.027	8.9	2.81	0.009	0.100	0.684			
	4.35	1.00	砂質土	3.0	0.000	4.30	20.0	21.0	60.80	88.80	5.0	0.000	0.00	0.00	N値	112.4	0.040	12.8	3.81	0.080	0.122	0.659			
	5.35	1.00	砂質土	26.0	0.000	5.30	18.0	19.0	69.90	107.90	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	106.2	0.012	14.6	31.90	0.600	0.122	4.903			
	6.35	1.00	砂質土	32.0	0.000	6.30	18.0	19.0	78.90	126.90	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	102.5	0.014	16.2	36.86	0.600	0.122	4.932			
	7.35	1.00	砂質土	27.0	0.000	7.30	18.0	19.0	87.90	145.90	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	97.8	0.016	17.9	29.71	0.600	0.122	4.927			
	8.35	1.00	砂質土	44.0	0.000	8.30	18.0	19.0	96.90	164.90	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	91.6	0.017	19.4	45.45	0.600	0.121	4.975			
	9.35	1.00	砂質土	50.0	0.000	9.30	18.0	19.0	105.90	183.90	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	83.4	0.019	21.6	49.30	0.600	0.124	4.853			
10	11.35	2.00					18.0	19.0								75.7	0.022	23.9							
																	0.024	25.4							

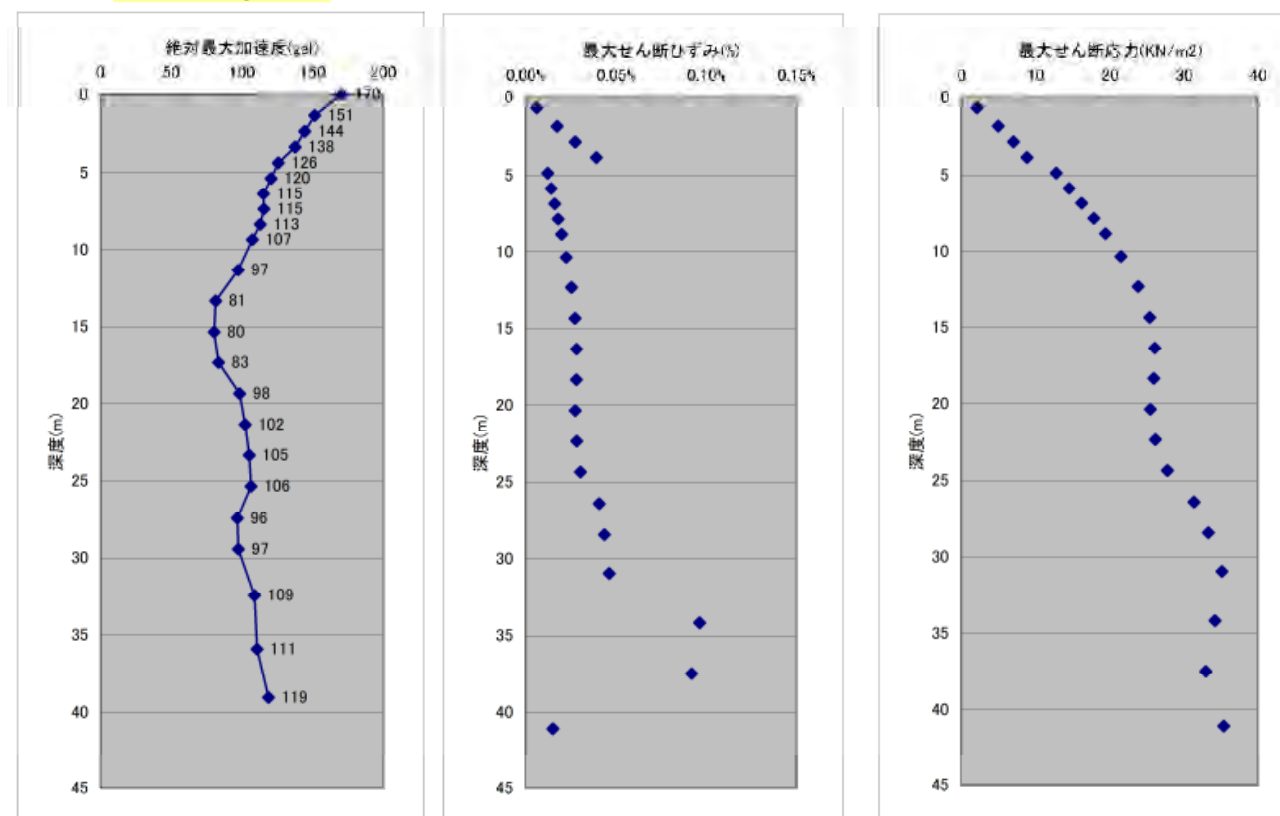
最大応答値深度分布図

ケース kentiku sonsyo



最大応答値深度分布図

ケース kentiku sonsyo



地点名：飯岡体育館
基盤に
与える波形： M7.5, $\alpha_{max}=137gal$
L1（旭基盤）適合波加速度波形図

PL = 6.0 Dcy(建築指針)= 13.6 cm Dcy(高压ガス指針)= 13.1 cm
Dcy(Dr- ϵ 関係)= 34.1 cm

地点名：HB-S-1
基盤に
与える波形： M7.5, $\alpha_{max}=137gal$
L1（旭基盤）適合波加速度波形図

PL = 2.3 Dcy(建築指針)= 3.7 cm Dcy(高压ガス指針)= 4.2 cm
Dcy(Dr- ϵ 関係)= 2.9 cm

地点名	飯岡体育館	PL値	6.037	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値
入力波名	kentiku sonsyou	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	基礎加速度	86.85 (gal)	**3 $F_c \sim \angle N_f$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle N_f = 11$ 一定とする	マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である
		補正係数	1.000	地下水位面 1.72 (m)

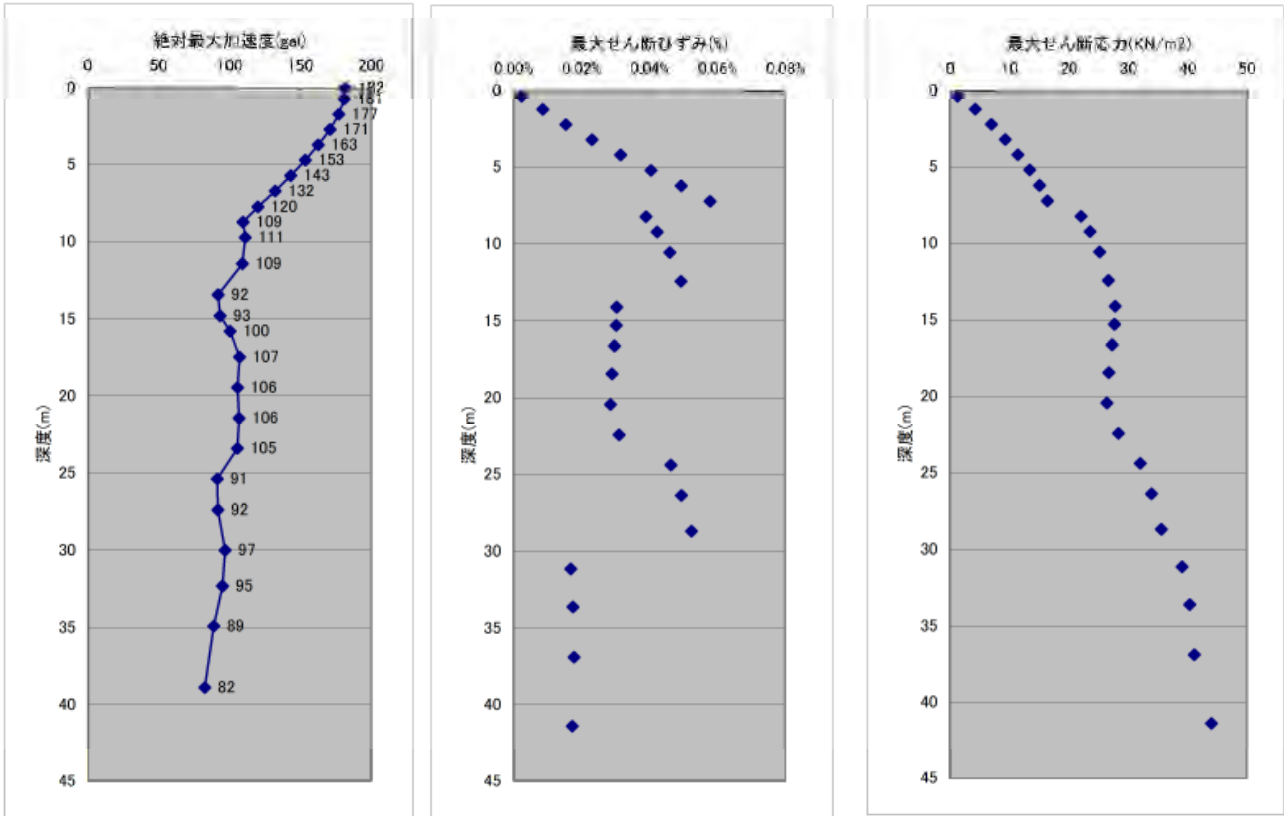
標高	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応答力出法	液状化判定	地震応答値						液状化の判定					
				N 値	振動数 二比軸	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載圧 $\sigma' v$	全上載圧	結合率土率	平均粒径	コ抵抗値 貫入			周抵抗率 摩擦	最大加速度	最大歪	最大せん断力	補正 N 値	液状化 率比	せん断力 率比	判 定	FL	0	1	2
(m)	(m)	(m)		0 50	Hz	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	(kN/m ²)	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(gal)	(%)	(kN/m ²)	Ns	$\tau 1 / \sigma' v$	$\tau d / \sigma' v$						
0	0.0															177.8	0.002	4.9									
	0.72	0.72	砂質土													176.8	0.008	7.0	15.53	**1	**1	**1					
	1.72	1.00	砂質土													173.9	0.016	9.3	7.75	0.114	0.148	0.772					
	2.72	1.00	砂質土													169.6	0.025	11.4	8.25	0.118	0.143	0.825					
	3.72	1.00	砂質土													162.8	0.037	13.4	8.75	0.122	0.139	0.876					
	4.72	1.00	砂質土													152.9	0.048	15.1	9.22	0.125	0.133	0.939					
	5.72	1.00	砂質土													139.0	0.061	16.4	22.01	0.298	0.126	2.367					
	6.72	1.00	砂質土													120.2	0.074	22.1	9.10	0.124	0.150	0.827					
	7.75	1.03	砂質土													103.5	0.041	23.6	20.22	0.243	0.145	1.672					
	8.75	1.00	砂質土													103.0	0.044	25.2	18.99	0.216	0.143	1.514					
	9.75	1.00	砂質土													98.3	0.047	26.7									
	11.45	1.70														81.5	0.049	27.8									
	13.45	2.00														92.5	0.029	27.7									

地点名	HB-S-1	P L値	2.298	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値
入力波名	kentiku sonsyou	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外
		上載荷重	0.0 (kN/m ²)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau d / \sigma' v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	基礎加速度	113.24 (gal)	**3 $F_c \sim \angle NF$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\angle NF = 11$ 一定とする	マグニチュード	7.5	**4 全上載圧または有効上載圧が0.0以下となる層である
		補正係数	1.000	地下水位面 1.60 (m)

標高	深さ	層厚	土層種類	土 質 特 性										応答力出法	液状化判定	地震応答値			液状化の判定							
				N 値	振動数 比 軸	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有上載 圧	全上載 圧	結合 比有土率	平均 粒径	コ抵抗 値貫入			周抵抗 率	最大 加速度	最大 歪	最大せん 断力	補正 N値	液状 化比	せん断 力比	判定			
(m)	(m)	(m)		0 50	Hz	(m)	(kN/m ³)	(kN/m ³)	$\sigma' v$	(kN/m ²)	(%)	D50	(kN/m ²)	(kN/m ²)		(gal)	(%)	(kN/m ²)	Na	$\tau 1 / \sigma' v$	$\tau d / \sigma' v$	FL	0	1	2	
0	0.0															189.4	0.005	4.9								
	0.80	0.80	砂質土			6.0	0.000	1.30		20.0	21.0		26.00	26.00	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	188.3	0.016	7.2	0.00	**1	**1	**1
	1.60	0.80	砂質土			6.0	0.000	2.30		20.0	21.0		39.70	46.70	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	184.6	0.033	9.6	0.00	0.182	0.157	1.159
	2.70	1.10	砂質土			6.0	0.000	3.30		20.0	21.0		50.70	67.70	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	174.5	0.061	11.0	0.00	0.182	0.141	1.291
	3.90	1.20	砂質土			7.0	0.000	4.30		20.0	21.0		61.70	88.70	7.5	0.000	0.00	0.00	N値	152.6	0.095	13.8	0.00	0.182	0.145	1.252
	4.90	1.00	砂質土			6.0	0.000	5.30		20.0	21.0		72.70	109.70	5.4	0.000	0.00	0.00	N値	121.3	0.060	19.2	7.45	0.112	0.172	0.653
	5.80	0.90	砂質土			22.0	0.000	6.30		20.0	21.0		82.70	129.70	10.7	0.000	0.00	0.00	N値	103.1	0.032	21.0	30.09	0.600	0.165	3.635
	6.90	1.10	砂質土			25.0	0.000	7.30		18.0	19.0		91.70	148.70	1.0	0.000	0.00	0.00	N値	99.7	0.023	22.6	25.84	0.532	0.160	3.323
	7.90	1.00	砂質土			33.0	0.000	8.30		18.0	19.0		100.70	167.70	6.0	0.000	0.00	0.00	N値	97.2	0.025	24.2	32.55	0.600	0.156	3.841
	8.90	1.00	砂質土			20.0	0.000	9.30		18.0	19.0		109.70	186.70	9.4	0.000	0.00	0.00	N値	94.2	0.027	23.9	24.18	0.405	0.142	2.861
	10.00	1.10								18.0	19.0					0.000	0.00	0.00	N値	92.0	0.066	26.0				
	11.10	1.10								18.0	19.0					0.052	26.3			92.2						
	12.90	1.80								18.0	19.0					93.9										

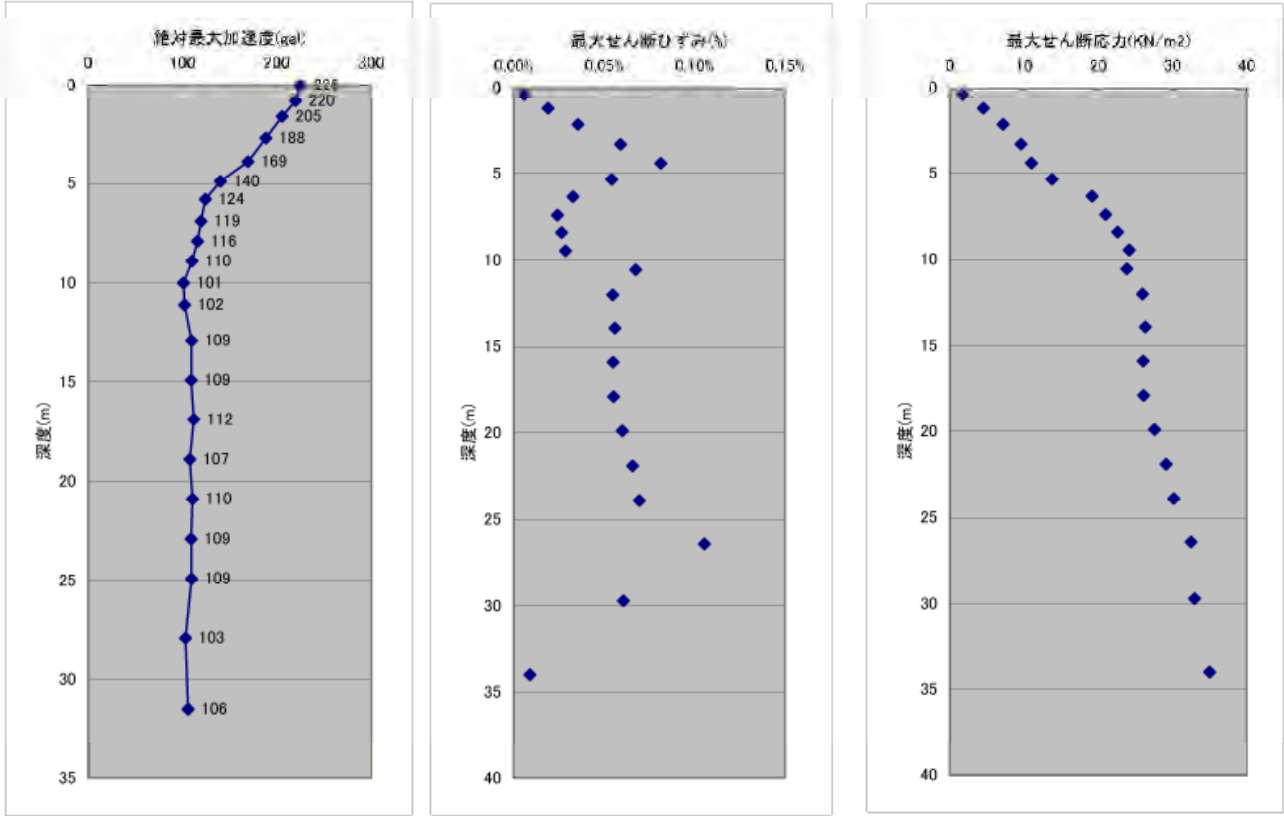
最大応答値深度分布図

ケース kentiku sonsyo



最大応答値深度分布図

ケース kentiku sonsyo



地点名：HB-1

基盤に
与える波形： M7.5, $\alpha_{\max}=137\text{gal}$
L1 (旭基盤) 適合波加速度波形図

PL = 15.5 Dcy(建築指針)= 31.2 cm Dcy(高压ガス指針)= 12.1 cm

Dcy(Dr- ε 関係)= 26.8 cm

地点名：HB-2

基盤に
与える波形： M7.5, $\alpha_{\max}=137\text{gal}$
L1 (旭基盤) 適合波加速度波形図

PL = 16.3 Dcy(建築指針)= 30.9 cm Dcy(高压ガス指針)= 15.0 cm

Dcy(Dr- ε 関係)= 32.6 cm

地点名	HB-1	PL値	15.527	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値
入力波名	kentiku sonsyou	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外
基準名	建築基礎構造設計指針	土の単位体積重量	0.0 (kN/m ³)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau/d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)
Fe>50%の取扱い	$\angle Nf=11$ 一定とする	基礎加速度	85.86 (gal)	**3 $F_c \sim \angle Nf$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マグニチュード	7.5	**4 全土載圧または有効土載圧が0.0以下となる層である
		補正係数	1.000	地下水位面 1.90 (m)

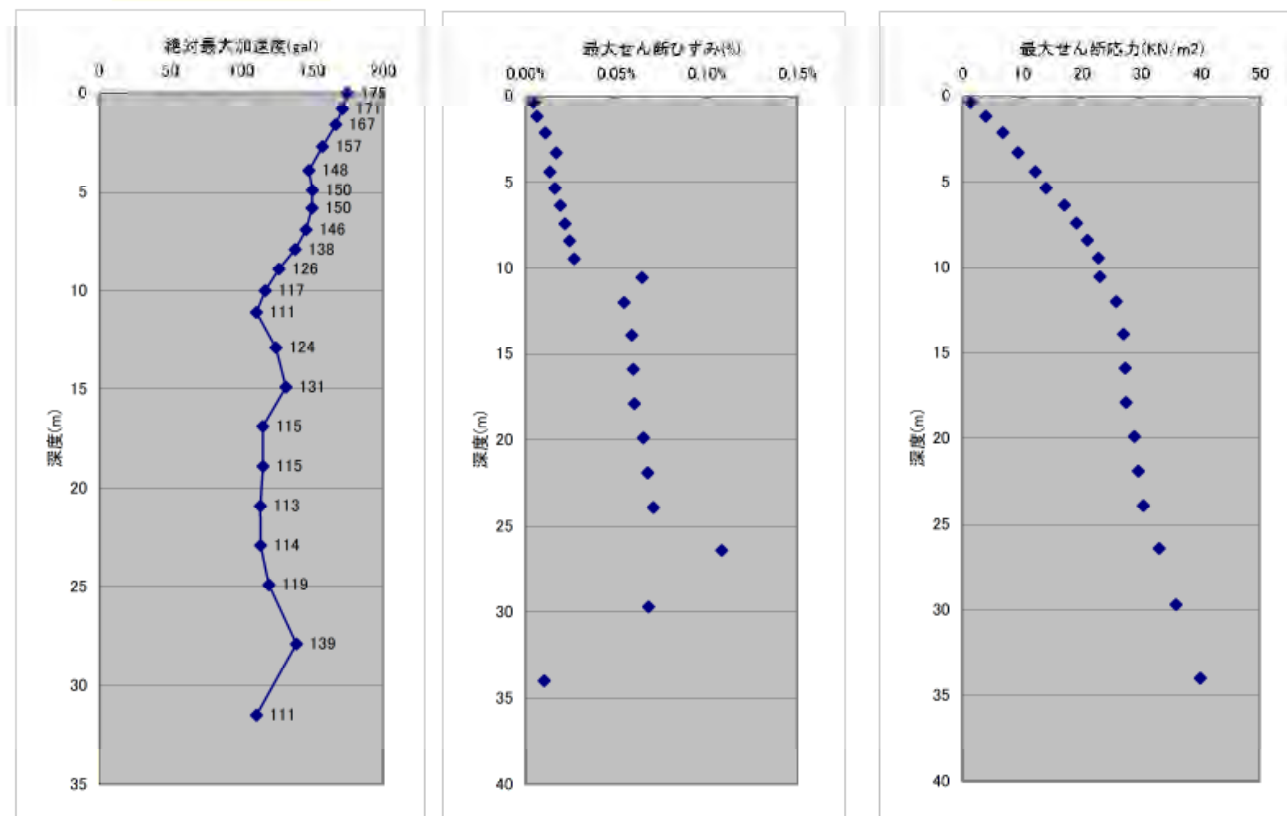
標高	深さ	土質特性										応力比	液状化判定	地盤応答値						液状化の判定					
		層厚	土層種類	N値	振動三軸	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有土載圧	全土載圧	割合	平均	コ抵抗	周抵抗	最大速度	最大歪	最大せん断力	補正N値	液状化比	せん断力比	判定	FL	0	1	2
0	0.0														199.7	0.006	4.0								
	0.90	0.90	砂質土	3.0	0.009	1.30	20.0	21.0	26.00	26.60	5.1	0.000	0.00	0.00	N値										
	1.90	1.00	砂質土	2.0	0.009	2.30	20.0	21.0	42.40	46.40	3.6	0.000	0.00	0.00	N値										
	2.90	1.00	砂質土	3.0	0.009	3.30	20.0	21.0	53.40	67.40	4.0	0.000	0.00	0.00	N値										
	3.90	1.00	砂質土	3.0	0.009	4.30	20.0	21.0	64.40	88.40	1.8	0.000	0.00	0.00	N値										
	4.90	1.00	砂質土	2.0	0.009	5.30	20.0	21.0	75.40	109.40	4.6	0.000	0.00	0.00	N値										
	5.90	0.90	砂質土	22.0	0.009	6.30	18.0	19.0	85.40	129.40	4.7	0.000	0.00	0.00	N値										
	6.80	1.00	砂質土	34.0	0.009	7.30	18.0	19.0	94.40	148.40	8.0	0.000	0.00	0.00	N値										
	7.81	1.01	砂質土	26.0	0.009	8.30	18.0	19.0	103.40	167.40	4.2	0.000	0.00	0.00	N値										
	8.81	1.00	砂質土	32.0	0.009	9.30	18.0	19.0	112.40	186.40	6.4	0.000	0.00	0.00	N値										
	9.81	1.00					18.0	19.0																	
	10.81	1.00					18.0	19.0																	
	11.90	1.09					18.0	19.0																	

地点名	HB-2	PL値	16.347	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値
入力波名	kentiku sonsyou	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外
基準名	建築基礎構造設計指針	土の単位体積重量	0.0 (kN/m ³)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**2 $\tau/d/\sigma'v$ が0.0以下である(液状化の可能性は低い)
Fe>50%の取扱い	$\angle Nf=11$ 一定とする	基礎加速度	81.31 (gal)	**3 $F_c \sim \angle Nf$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マグニチュード	7.5	**4 全土載圧または有効土載圧が0.0以下となる層である
		補正係数	1.000	地下水位面 2.03 (m)

標高	深さ	土質特性										応力比	液状化判定	地盤応答値						液状化の判定					
		層厚	土層種類	N値	振動三軸	判定深さ	湿潤重量	飽和重量	有土載圧	全土載圧	割合	平均	コ抵抗	周抵抗	最大速度	最大歪	最大せん断力	補正N値	液状化比	せん断力比	判定	FL	0	1	2
0	0.0														176.6	0.002	2.6								
	0.50	0.50	砂質土	7.0	0.000	1.30	20.0	21.0	26.00	26.00	2.0	0.000	0.00	0.00	N値										
	1.00	0.50	砂質土	5.0	0.000	2.30	20.0	21.0	43.57	46.27	2.4	0.000	0.00	0.00	N値										
	2.03	1.03	砂質土	5.0	0.000	3.30	20.0	21.0	54.57	67.27	2.8	0.000	0.00	0.00	N値										
	3.03	1.00	砂質土	4.0	0.000	4.30	20.0	21.0	65.57	88.27	3.3	0.000	0.00	0.00	N値										
	4.23	1.20	砂質土	2.0	0.000	5.30	20.0	21.0	76.57	109.27	3.3	0.000	0.00	0.00	N値										
	5.43	1.20	砂質土	3.0	0.000	6.30	20.0	21.0	87.57	130.27	2.1	0.000	0.00	0.00	N値										
	6.80	1.37	砂質土	17.0	0.000	7.30	18.0	19.0	97.57	150.27	4.5	0.000	0.00	0.00	N値										
	7.80	1.00	砂質土	22.0	0.000	8.30	18.0	19.0	106.57	169.27	3.3	0.000	0.00	0.00	N値										
	8.80	1.00	砂質土	26.0	0.000	9.30	18.0	19.0	115.57	188.27	6.2	0.000	0.00	0.00	N値										
	10.10	1.30					18.0	19.0																	
	11.50	1.40					18.0	19.0																	

最大応答値深度分布図

ケース kentiku sonsyo



最大応答値深度分布図

ケース kentiku sonsyo

